

PDF 図面読み取り積算

PDF 積算

PDF 2D 積算 基本マニュアル



2025 年 5 月 Ver.2.04

PDF 積算のご利用に際して

本製品を快適にご利用いただくために、はじめに本誌をよくお読みくださいますようお願いいたします。

「PDF 積算」は「PDF 2D 積算」として PDF 図面から積算・見積作成・実行予算作成が可能なシステムです。（別売 SHARE 見積・実行予算購入の場合、実行予算まで可能）

計算式を搭載することで、より自動的に見積業務を行うことが可能です。

部材マスターとの連動で、ヒューマンエラーを回避できることも特徴の1つです。

本製品はクラウドシステムです。インターネット環境があればどの場所からもアクセス可能となります。環境により表示がされない場合などがございますが、電波状況により改善されます。

その他、ご使用にあたりましてご不明な点などは、ANP にご連絡ください。

※ PDF 積算にて算出された数値に関しまして、株式会社 ANP は一切の責任を負いません。

本誌に記載の機能は予告なく変更になる場合があります。

目次

ご利用になる前に

- ブラウザの準備 . . . P4
- 事前マスター登録 (ログイン方法) . . . P5
- デスクトップのアイコン設置 . . . P6

PDF 積算マニュアル目次

PDF 積算一覧の機能 . . . P7

新規作成 . . . P8

- PDF 図面アップロード方法 . . . P12
- 画面上のアイコンの機能 . . . P14
- 図面の表示方法 . . . P15
- 図面の拡大・縮小方法 . . . P15
- 基準線の測り方 . . . P16
- 長さの測り方 . . . P17
- 面積の測り方 . . . P19
- 計測値の削除 . . . P20
- 面積から開口を引く測り方 (立面図から) . . . P22
- 開口の合算と個別の計測 . . . P27

基準線の削除・訂正 . . . P30

長さから開口を引く . . . P31

計算式を作成する . . . P34

計算式の登録箇所 . . . P34

計算式の新規作成 . . . P35

長さから内壁面積を出す式 . . . P37

内壁面積から開口を引く式 . . . P38

内壁面積に材料を設定する式 . . . P43

割付の式 (整数切上げ) . . . P44

長さから床面積を出す式 . . . P45

子の計算式の追加 . . . P46

計算式の保存 . . . P42/P47

部材マスターと連動する . . . P48

部材マスター登録 . . . P48

部材マスタからの読み出し . . . P51

権限について . . . P52

屋根の測り方ー立面図からー . . . P53

NEW 計算式の保存 (サーバー) . . . P61

NEW 計算式の保存と利用 (PC) . . . P61 ~ 63

■ご準備いただくもの

① パソコン（Windows または Mac） ※ iPad 非推奨
※ Mac の標準マウスの場合、マウスホイールでの機能が利用できません。

② インターネット環境

③ 株式会社 ANP から発行された 「ID とパスワード」

④ 必要条件

■推奨ブラウザ	GoogleChrome （Safari 、Microsoft Edge 非推奨） （Internet Explorer 非推奨）
■推奨通信速度	3.5Mbps ～
■推奨デバイス	◎パソコン（Windows11）（※ Windows10 可）

推奨ブラウザ

推奨は、Google Chromeです。
Safari,Edgeは推奨ではありません。
Internet Explorer、Opera、Firefoxは非推奨です。



*ブラウザとは、インターネット上のウェブページの情報を画面上に表示するための閲覧ソフトのことです。P6 に Google クロムのインストール方法があります。

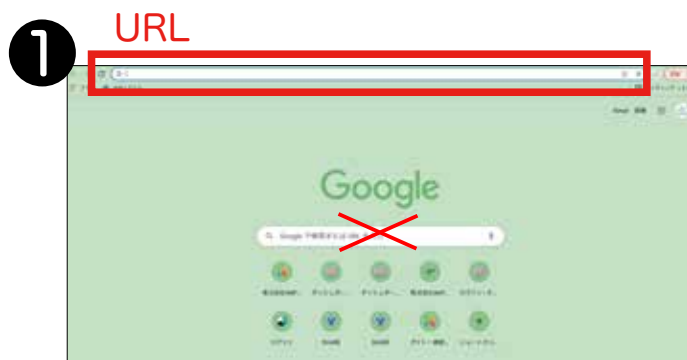
1 34.XXXXX以降のバージョンでご利用ください。2025.3.24現在

グーグルクロムダウンロード

https://www.google.com/intl/ja/chrome/?brand=QCTP&gad_source=1&gclid=EAlalQobChMIhO_K5uSdhwMVRxB7Bx2wSgbOEAAAYASAAEgKhw_D_BwE&gclsrc=aw.ds

ご利用になる前に—事前マスター登録—

■事前マスター登録

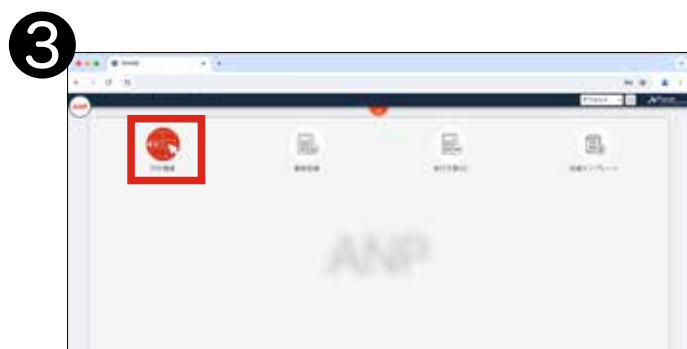


URL に、アドレスを直接入力します。

*URLとは、インターネット閲覧の際に、ページの住所の変わりとなるものです。
左上に「https://」と書かれてある場所です。入力の際には、「https://」の入力は不要です。



ログイン画面が開きます。ANP からお知らせしている ID とパスワードでログインします。



ログイン後、PDF 積算をクリックします。



PDF 積算の一覧が表示されます。
マスター設定をクリックします。



「面積・長さ・部材」のマスター登録をする画面が表示されます。各箇所に登録します。登録する内容は、マニュアルをご覧ください。自社用にどのように登録するのが最適かをご判断ください。不明な場合はご相談ください。



色：線を引いた時の色（面積のみ囲った範囲にも色がつきます。）

線の太さ：線を引いた時の太さを指定できます。

削除：登録した人のみ削除可能

アイコンの設置方法

■デスクトップにアイコンを設置する方法

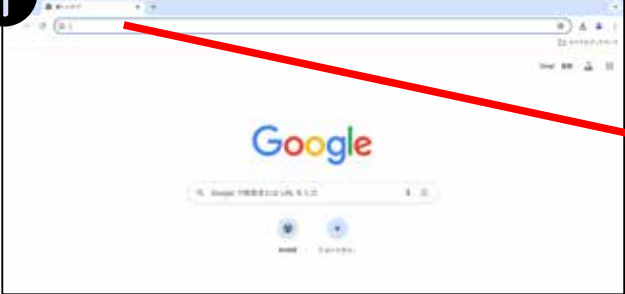
ブラウザはGoogle Chromeを利用します。



グーグルクロムダウンロード

https://www.google.com/intl/ja/chrome/?brand=QCTP&gad_source=1&gclid=EAlaIqobChMIhO_K5uSdhwMVRxB7Bx2wSgbOEAAAYASAAEgKhw_D_BwE&gclsrc=aw.ds

1



この部分に URL を入力します。
`https://` ○○○○○○○○

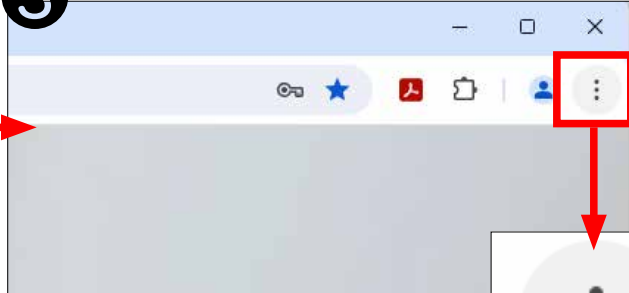
グーグルクロムを開きます。

2



ログイン画面が開きます。

3



ブラウザの右上のマークをクリックします。

4



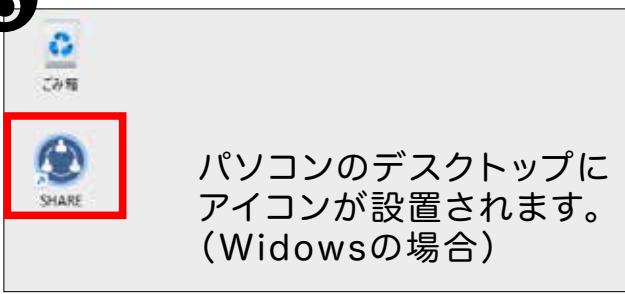
保存と共有にマウスをあて、ショートカットを作成をクリックします。

5



ショートカット名を記入し作成ボタンをクリックします。

6



パソコンのデスクトップにアイコンが設置されます。(Windowsの場合)



アイコンが設置されます。(Macの場合)

PDF 積算一覧の機能



メニュー一覧へ戻る



新規作成



更新



マスター設定

区分	図面名	添付者	添付日時	更新者	更新日時	備考
工事区分	立面図渋谷区2丁目.pdf	高橋 管理者	2024-06-12 16:09:47	高橋 管理者	2024-06-21 16:27:13	
工事区分	立面図渋谷区2丁目.pdf	高橋 管理者	2024-06-12 09:38:11	高橋 管理者	2024-06-21 10:01:46	
工事区分	平面図渋谷区2丁目.pdf	高橋 管理者	2024-06-19 16:01:59	高橋 管理者	2024-06-20 09:33:13	
工事区分	平面図港区青山5丁目.pdf	高橋 管理者	2024-06-16 23:03:21	高橋 管理者	2024-06-17 19:14:32	
工事区分	平面図港区青山3丁目.pdf	高橋 管理者	2024-06-12 13:36:32	高橋 管理者	2024-06-12 13:37:21	
工事区分	10 立面図.pdf	高橋 管理者	2024-06-12 11:57:30	高橋 管理者	2024-06-12 11:59:35	
工事区分	屋根伏図.pdf	高橋 管理者	2024-06-12 11:56:39	高橋 管理者	2024-06-12 11:56:57	
工事区分	立面図.pdf	高橋 管理者	2024-06-11 18:39:46	高橋 管理者	2024-06-11 18:41:25	
工事区分	配管図面.pdf	高橋 管理者	2024-06-05 16:38:28	高橋 管理者	2024-06-05 16:38:39	
工事区分	足場.pdf	高橋 管理者	2024-06-04 09:51:47	高橋 管理者	2024-06-05 16:36:23	
工事区分	巻図面.pdf	高橋 管理者	2024-06-04 15:02:01	高橋 管理者	2024-06-04 15:03:02	
工事区分	立面図2.pdf	高橋 管理者	2024-06-04 13:53:26	高橋 管理者	2024-06-04 14:13:31	
工事区分	巻図面一式.pdf	高橋 管理者	2024-06-04 13:27:55	高橋 管理者	2024-06-04 13:37:34	
工事区分	DRW026006W00 ボトムプレート治具.pdf	高橋 管理者	2024-05-29 15:20:32	高橋 管理者	2024-05-29 15:20:58	
工事区分	平面図.pdf	高橋 管理者	2024-05-27	高橋 管理者	2024-05-28	

案件ごと削除

☐ 工事区分

☒ 工事区分

選択した案件を図面ごと削除

削除したい案件をクリックし、右上の削除ボタンをクリックします。



図面のみ削除

☐ 工事区分

☒ サンプル図面.pdf

マウスをあてると削除ボタンが表示されます。

抽出したい文字を入力し、検索をクリックすると抽出できます。

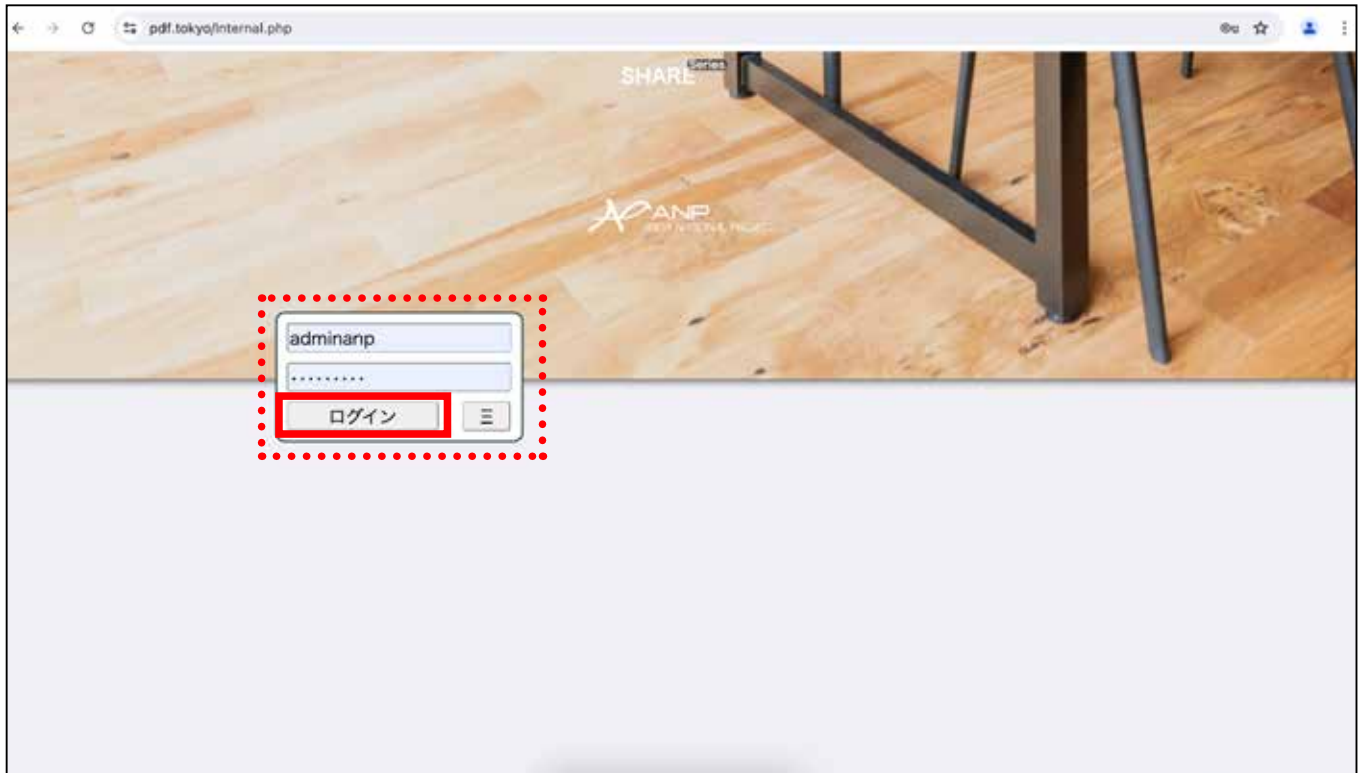
サンプル

検索

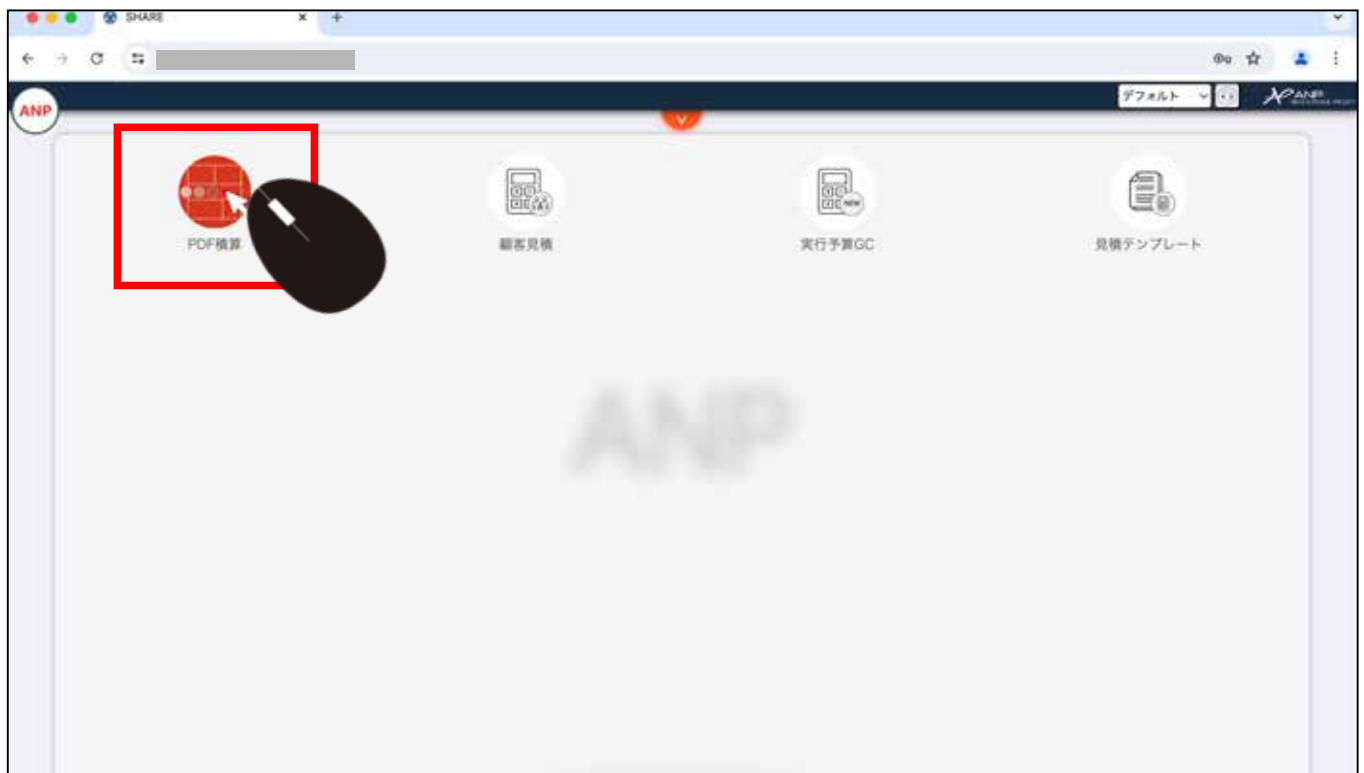
検索

新規作成

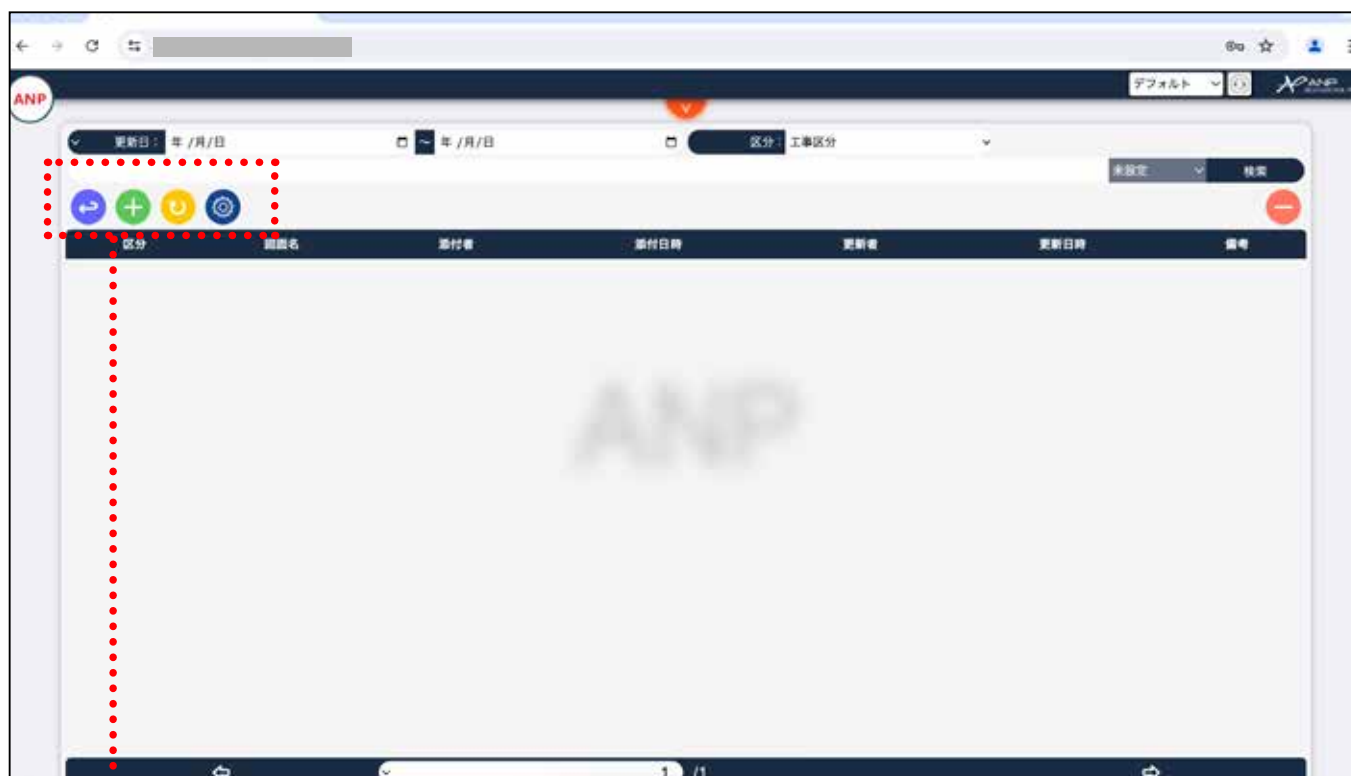
- 1) ログイン画面を開きます。 ID とパスワードを入力しログインボタンをクリックします。
パスワードの保存はP



- 2) メニューが表示されます。 PDF 積算メニューをクリックします。



3) PDF 積算の一覧が表示されます。 下記はまだ何も作成されていない状態です。



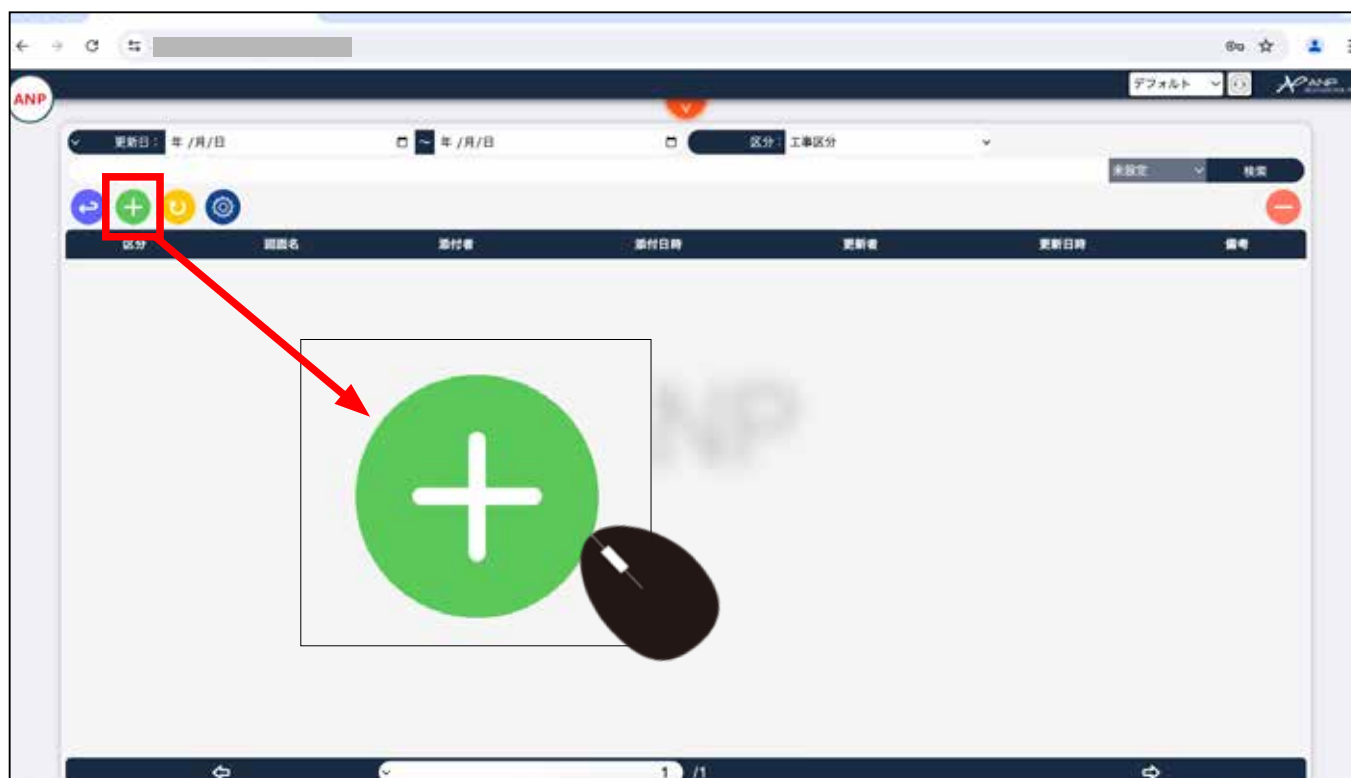
作成数が多くなると、このように表示されるようになります。



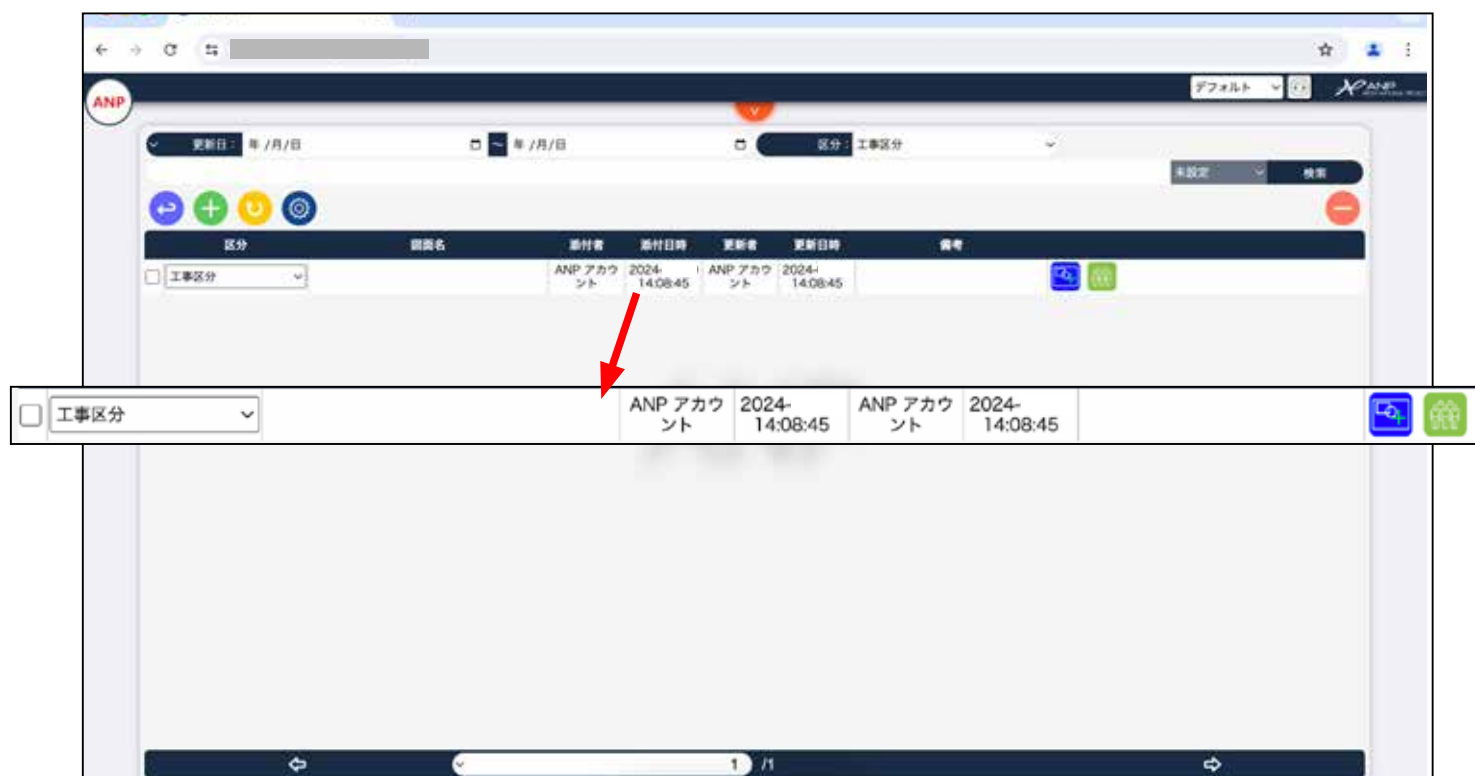
4) アイコンの機能は下記の通りです。



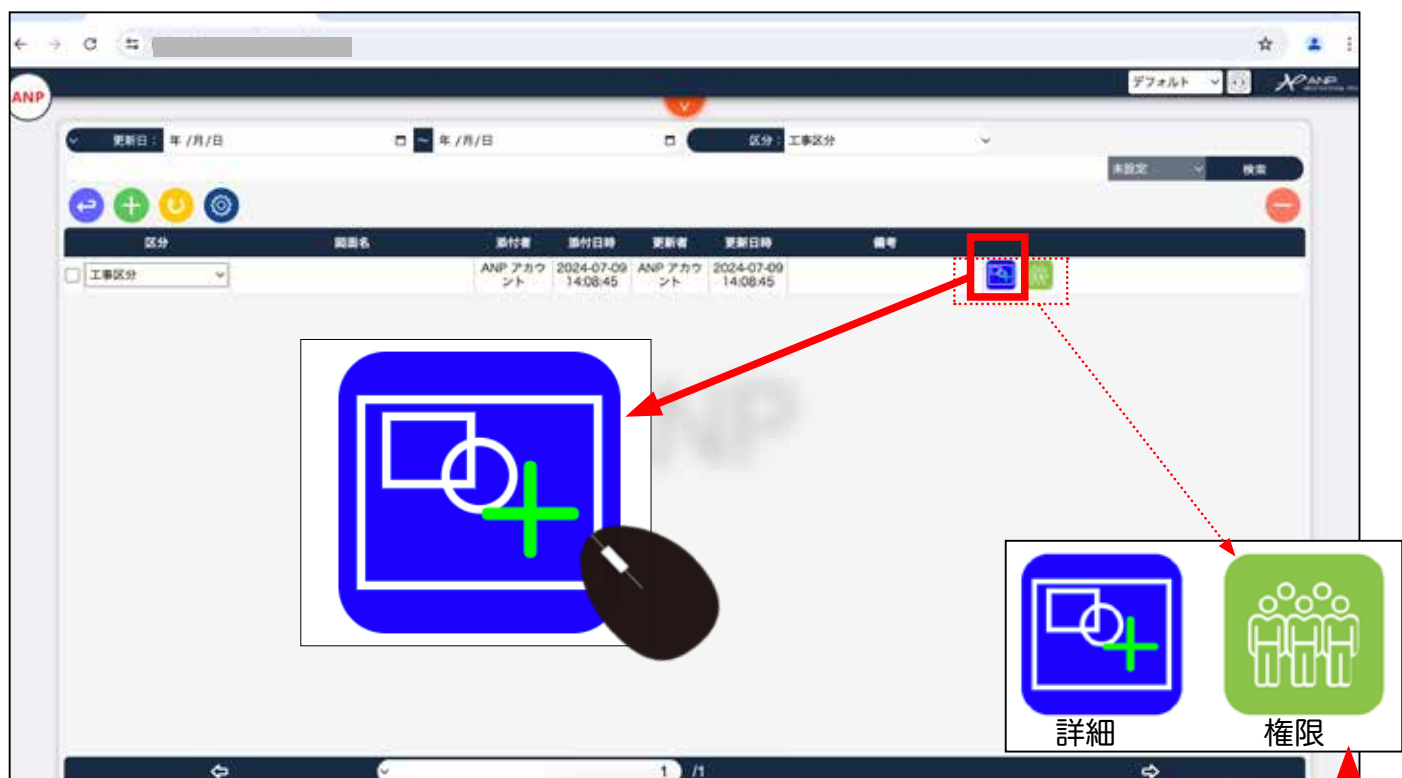
5) 新規作成をします。 新規作成のアイコンをクリックします。



6) 新しく1行追加されます。

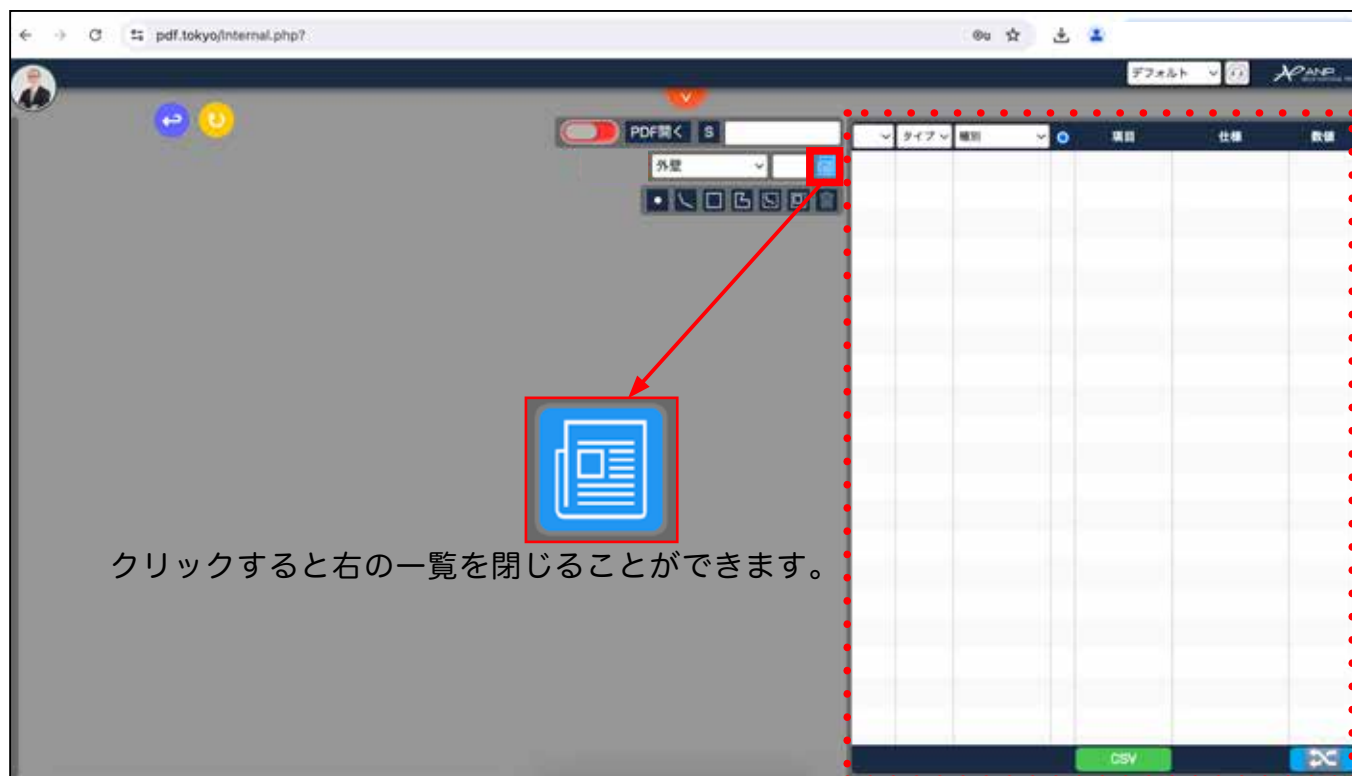


7) 新しくできた行の右側アイコンの  をクリックします。



権限の説明は P52 に記載

8) 作成画面が開きます。

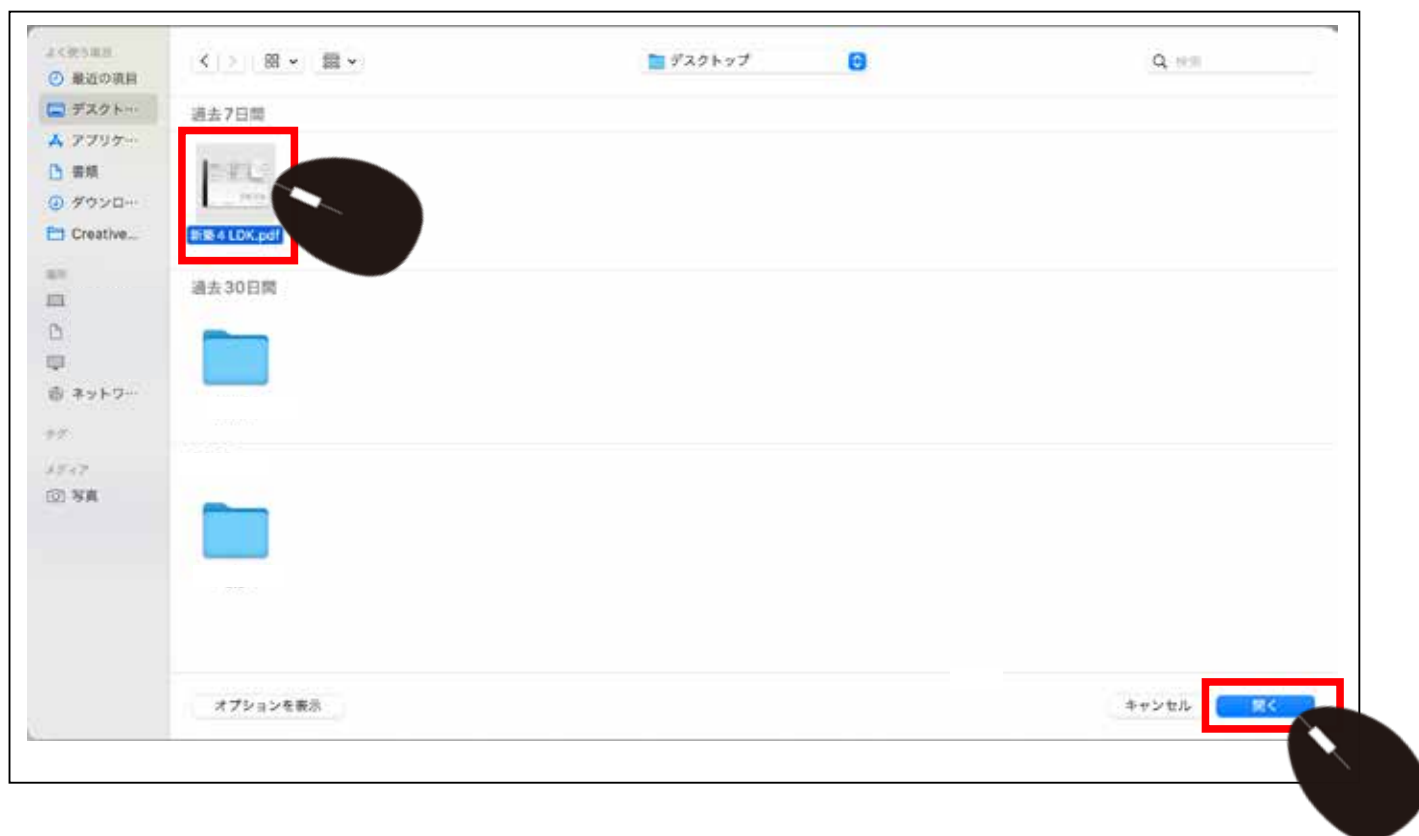


- 1) 積算したい PDF 図面をアップします。 上の **PDF開く** をクリックします。



右側に表示されているデータ一覧を閉じたり開いたりできます。

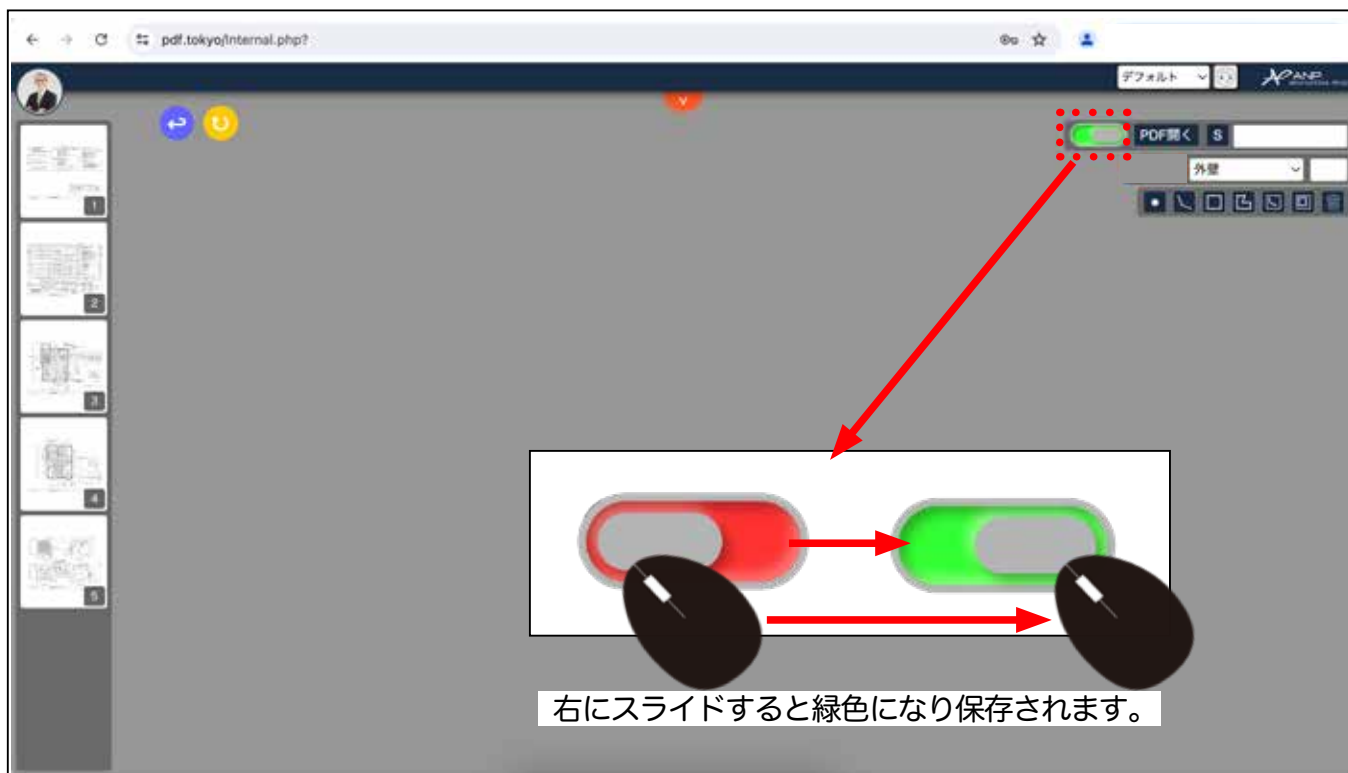
- 2) 選択します。



3) 図面が画面左側に表示されます。枚数が多い場合は多少時間がかかることがあります。



4) すぐに保存をするため  を右横にスライドし保存します。多少時間がかかることがあります。



画面上のアイコンの機能



アップした PDF 図面の保存



保存状態



未保存

PDF開く

PDF 図面アップロード

S

基準線設定

外壁

線を引く種類を選択する箇所



右側のデータ一覧の開閉ボタン



部材

長さ

矩形 / 四角

多辺形

開口長さ

開口面積

削除



No. ▾

タイプ ▾

種別 ▾



ページ数 タイプ選択 種別選択 子作成用



計算結果と計算式の表示アイコン

CSV

データを CSV でダウンロードできる

アップロードした図面の表示方法

- 1) 画面左部分から目的のページを**ダブルクリック**します。図面が表示されます。

※ダブルクリック

図面の拡大・縮小はマウスのマウスホイールで操作します。

↑縮小
↓拡大

図面上にマウスをあてて拡大・縮小します。画面全体で拡大・縮小はしないでください。

注意：Mac の標準マウスの場合、マウスホイール機能が使用できません。他社マウスを使用ください。

ノートパソコンのパッドでは、高速に拡大・縮小ができます。

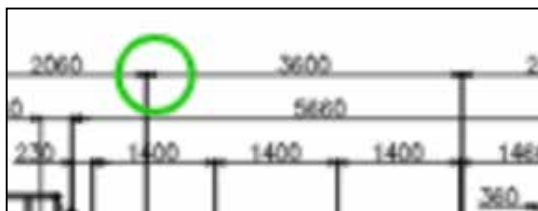
- 2) このページを積算するため、基準線を設定します。

選択されている状態は黒く表示されます。

※基準線設定箇所

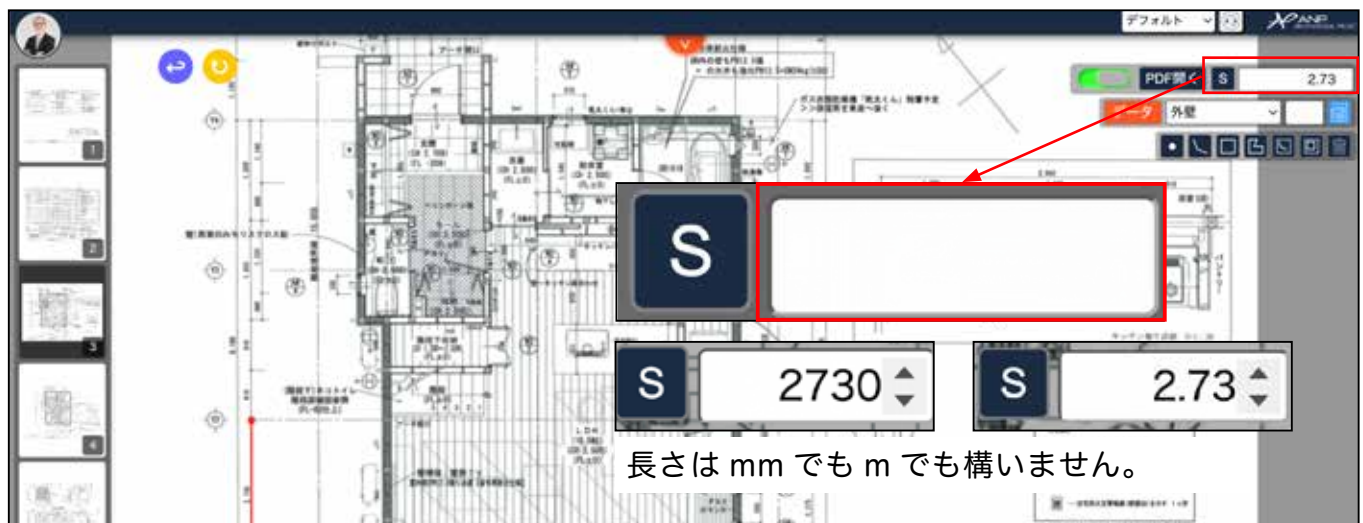
基準線の測り方

- 1)  をクリックし、図面上のいずれかの長さをマウスで計測します。



基準線の端点にマウスをあてた時に、交点を自動で読み取っています。緑丸が表示されない図面は、スキャンした図面や複製した図面です。CAD から出力した PDF は緑丸が表示されます。

- 2) 基準線をマウスで計測した後、その長さを入力します。



※やり直したい場合や間違えた場合は、一旦削除し測りなおします。 削除は  をクリックし引いた基準線にマウスを当てると削除できます。

長さの測り方

1) 実際の図面上の計測をします。何を測るのか選択箇所をクリックし候補から選びます。

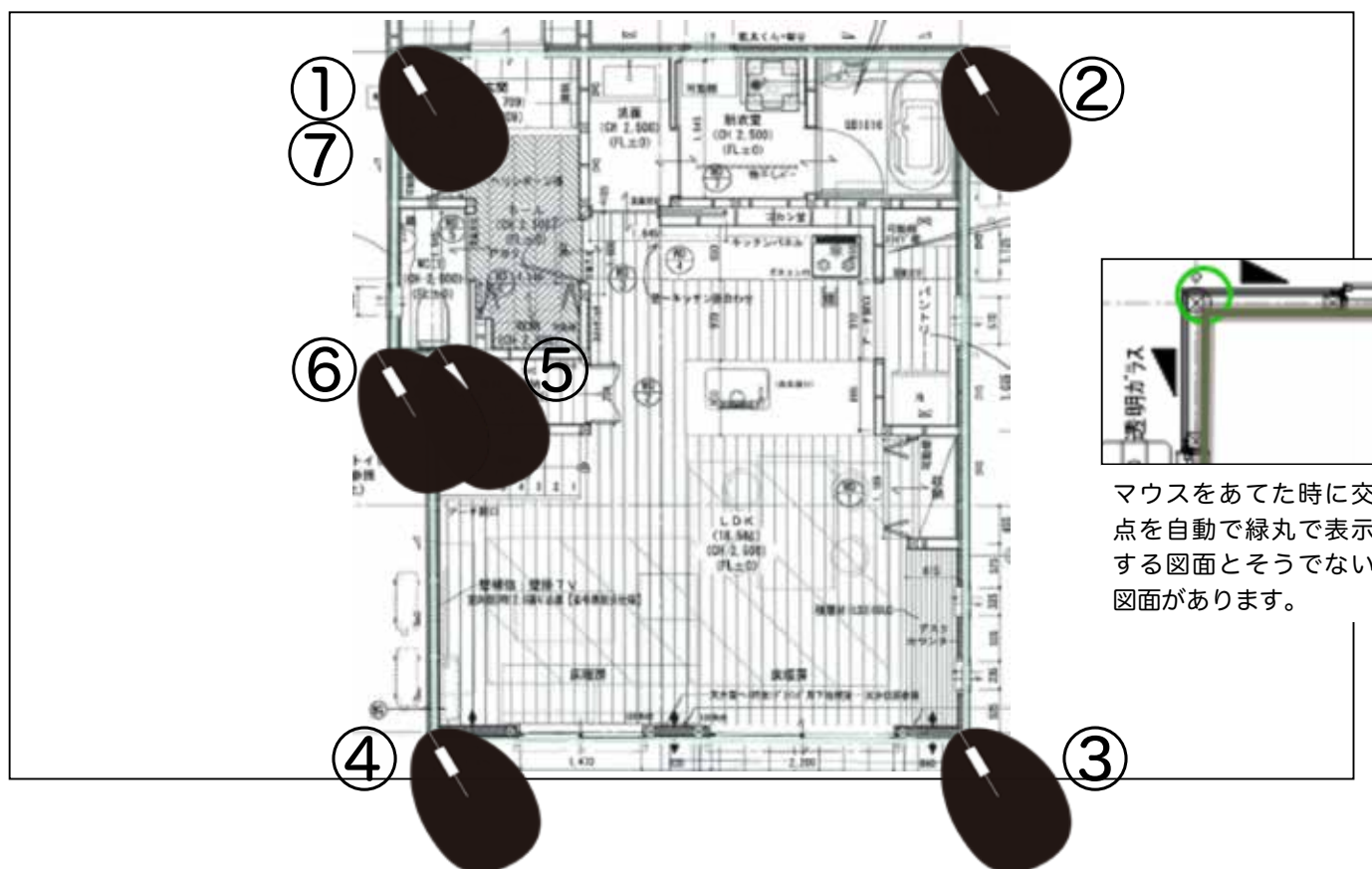


マスターに登録した、面積・長さ・部材が表示されています。
何も登録していない場合、区別できないため、P 5のマスタ設定を
参考に先に登録してください。

2) 長さ ですので、長さのアイコンをクリックします。



3) マウスで端点をクリックし、最後は Enter キーを押します。



4) 外周をマウスで囲みました。



をクリックすると測った内容が表示されます。

No.	タイプ	種別	項目	仕様	数値
3	長さ	外周	外周		30.28

ページ数

タイプ

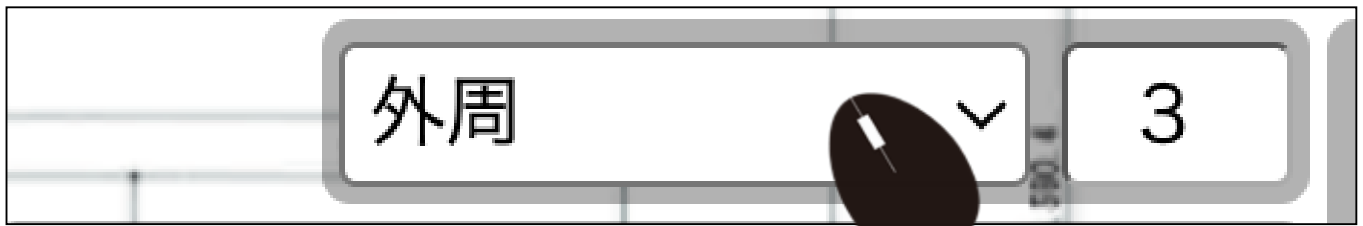
種別

項目名や仕様は自由に入力できます。

数値

面積の測り方

1) 面積を測ります。 選択箇所をクリックします。



ここでは、候補から面積の1階を選択します。



面積のアイコンをクリックします。

マスターに登録した、面積・長さ・部材が表示されています。
何も登録していない場合、区別できないため、P 5のマスタ設定を参考に
先に登録してください。



面積では、四角用と多変形用があります。
丸や五角形など複雑な形は多変形で計測します。

2) 開始と終了点でマウスを押すと四角で囲めます。



3) 拾った数値が表示されます。

No.	タイプ	種別	項目	仕様	数値
3	長さ	外周	外周		30.12
3	面積	1階	1階		2.17

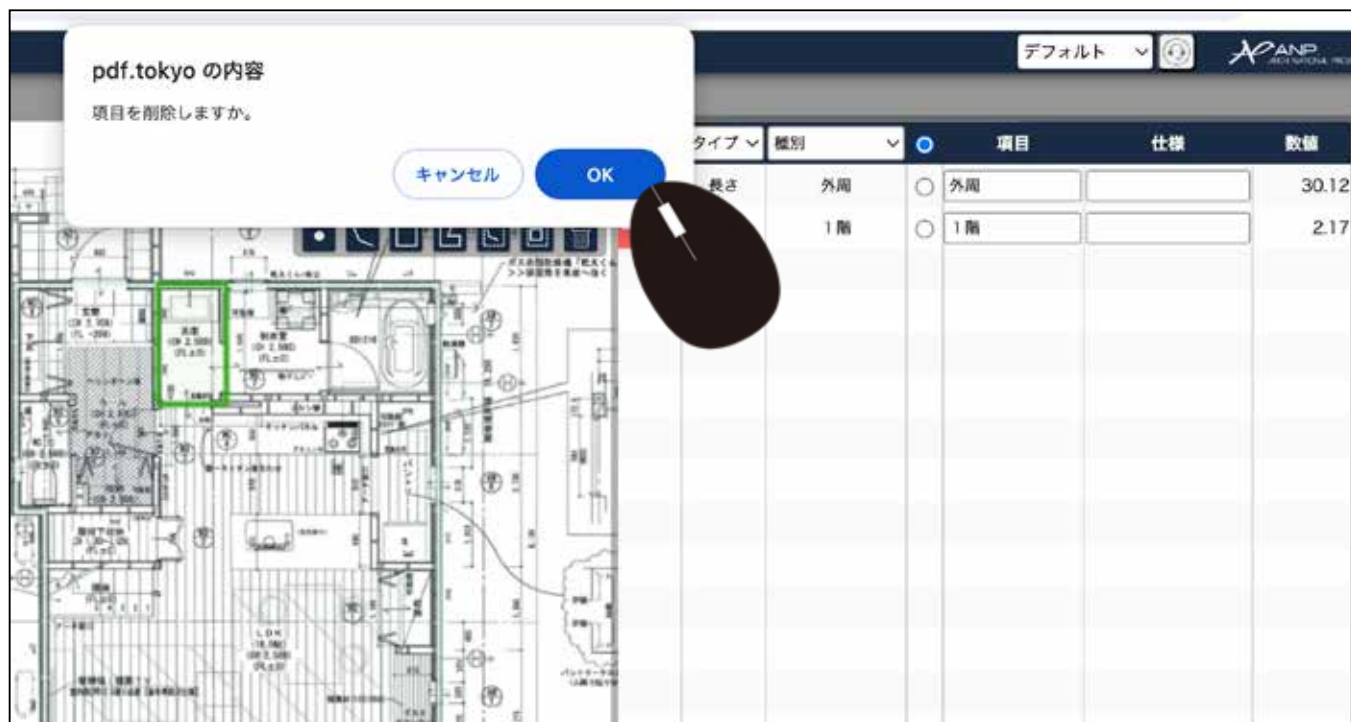
計測値の削除

1) 測りなおす場合は、表示行にマウスをあて  をクリックします。

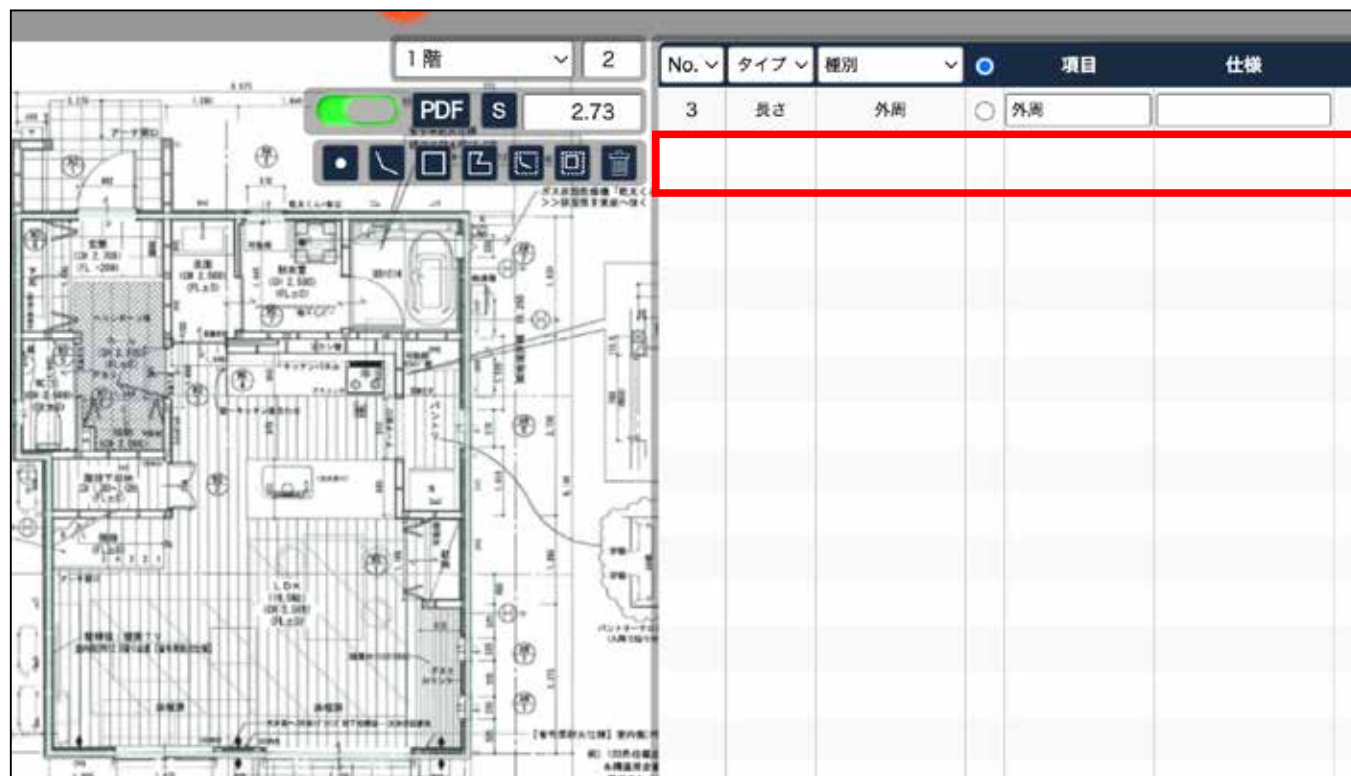
No.	タイプ	種別	項目	仕様	数値
3	長さ	外周	外周		30.12
3	面積	1階	1階		2.17

計測値の削除

2) 削除の確認が表示されますので、OK をクリックします。

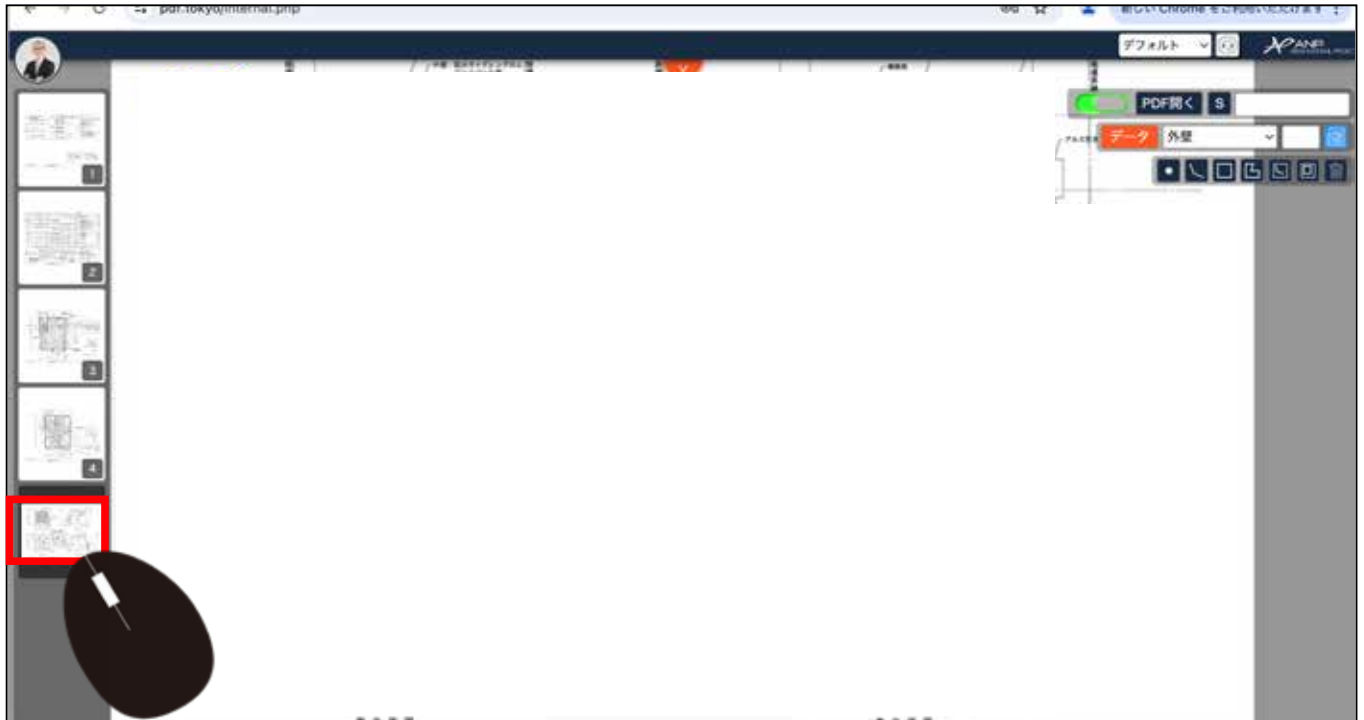


3) 図面上の線も、拾った数値の行も一緒に削除されます。

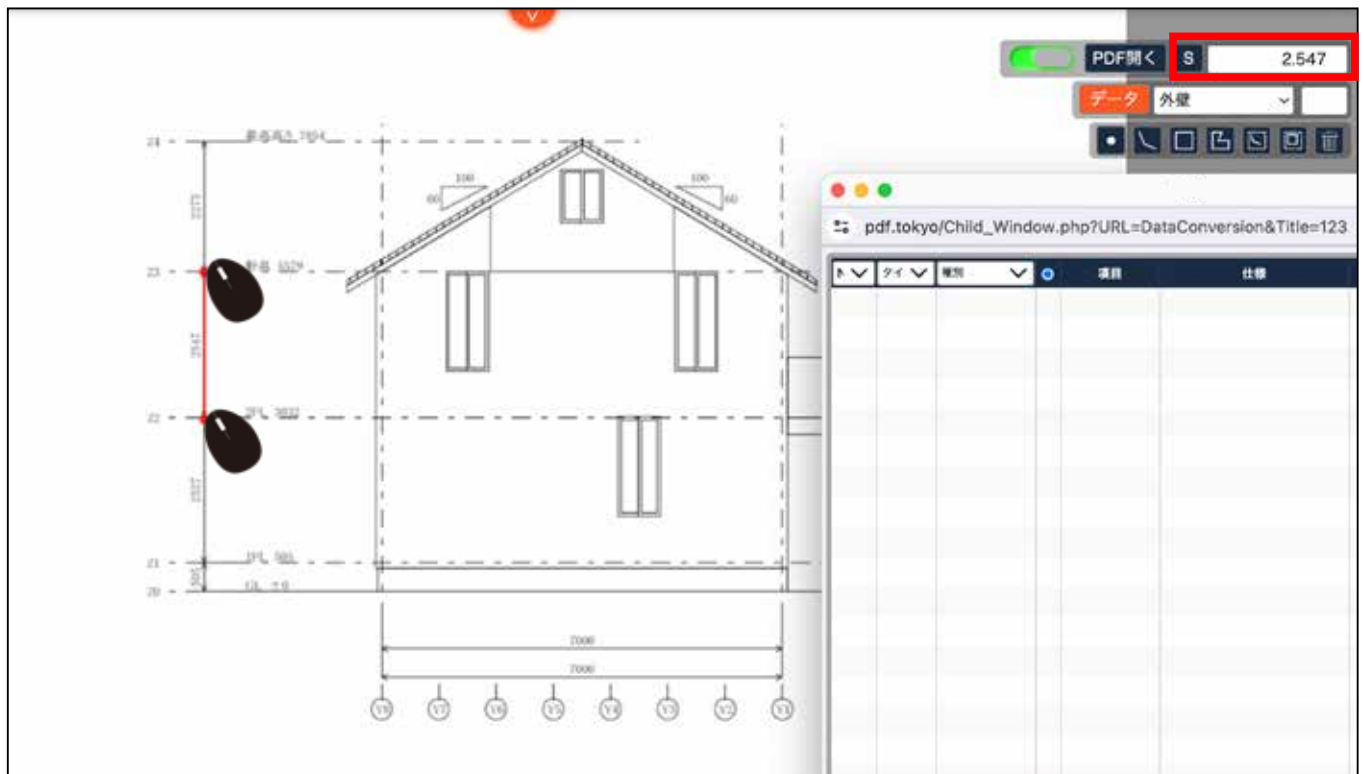


面積から開口を引く測り方(立面図から)

1) 左のページから立面図を開きます。マウスでダブルクリックします。



2) **S** をクリックし、マウスで基準線を測り、サイズを記入します。



3) 面積の外壁を選択します。

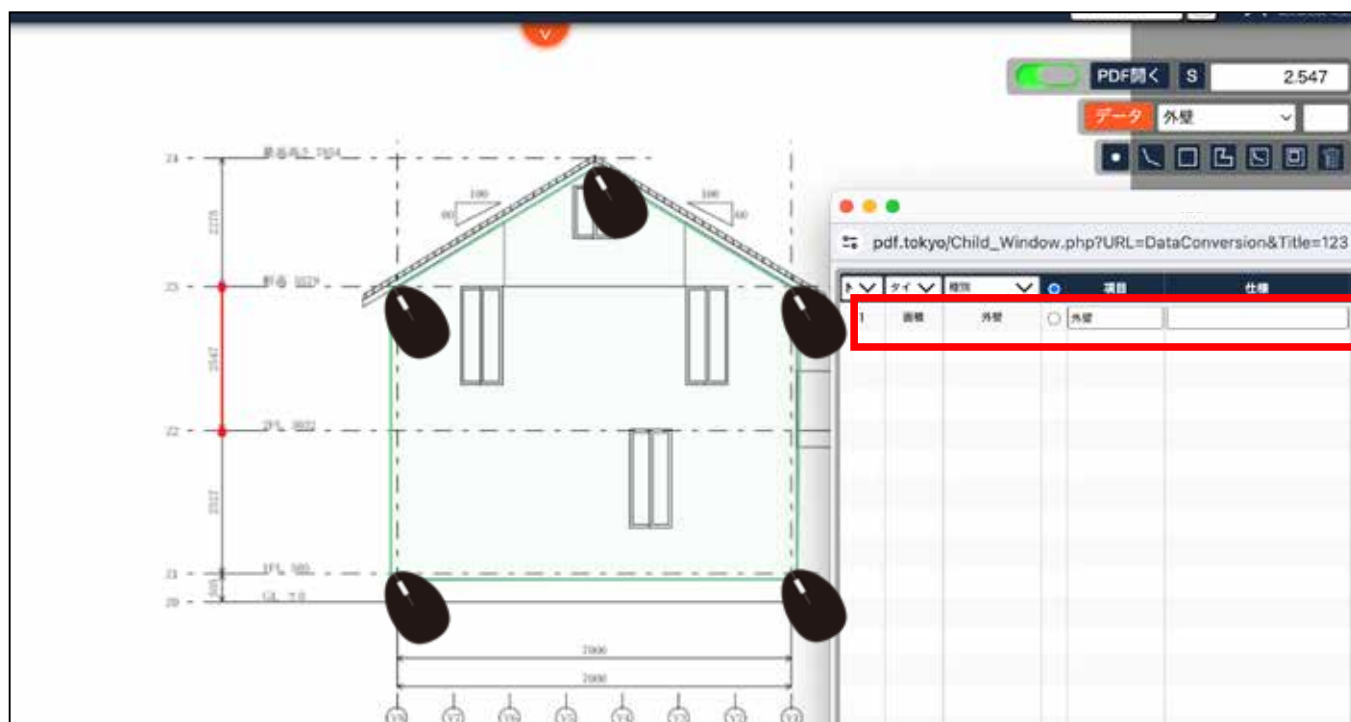


4) 多辺形を選択します。

面積では、四角用と多変形用があります。
丸や五角形など複雑な形は多変形で計測します。



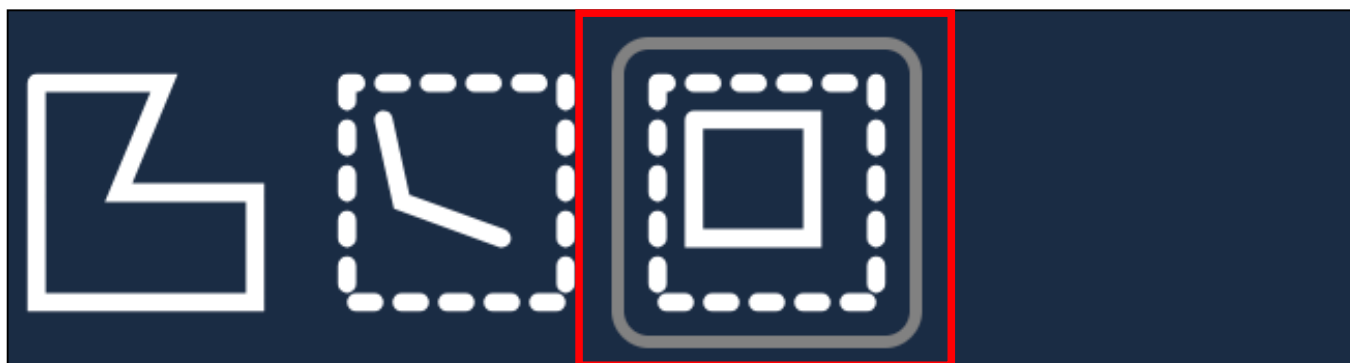
5) マウスで囲います。 外壁面積が表示されます。



6) 次に外壁面積の開口を選択します。



7) 開口のアイコンを選択します。



青い丸を、開口として引きたい元の面積にチェックを入れます。

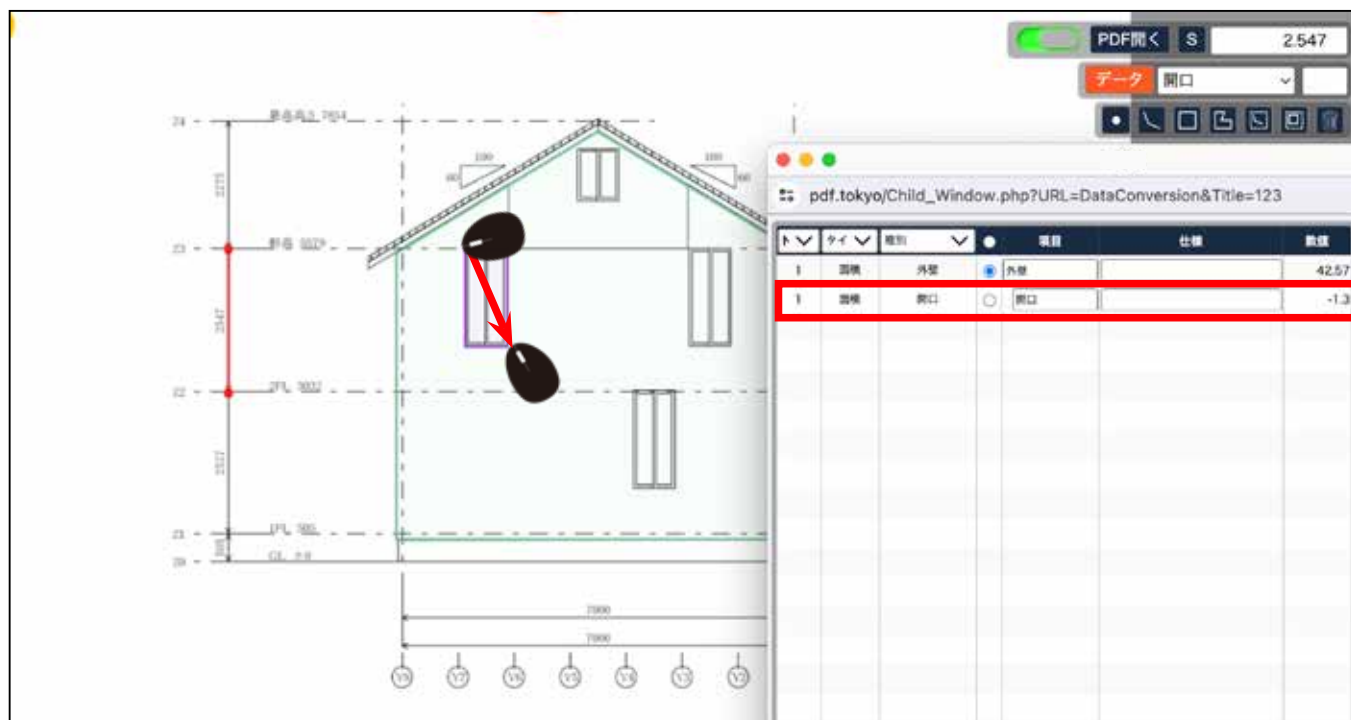
8) 外壁から窓の開口を引くため、最初に測った外壁にチェックを入れます。

No. ▾	タイプ ▾	種別 ▾	☒	項目	仕様	数
1	面積	外壁	☐	外壁		

チェックを入れました。この状態で開口を計測します。

No. ▾	タイプ ▾	種別 ▾	☒	項目	仕様	数
1	面積	外壁	☒	外壁		

9) マウスで囲います。 Enter キーを押すとデータ表に表示されます。



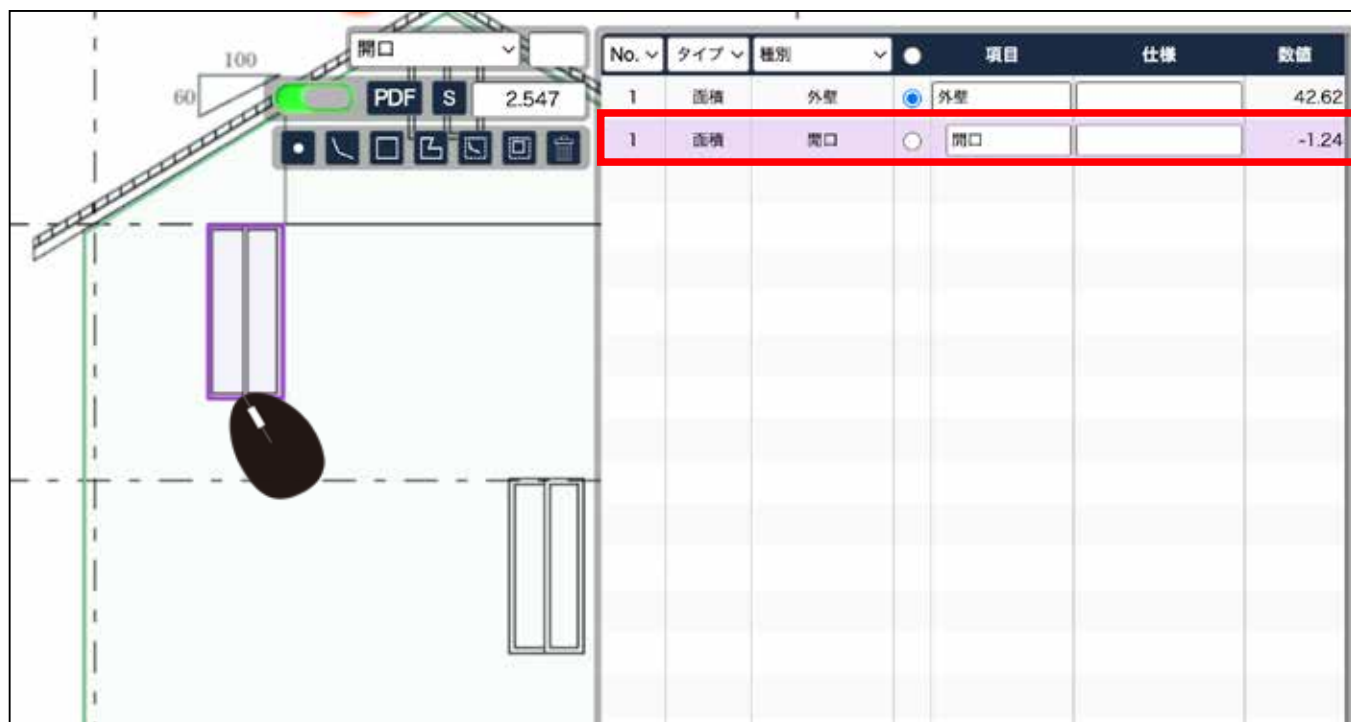
10) 元の面積にマウスをあてると、差し引かれる前の面積が表示されます。

項目	仕様	数値
1	面積 外壁	42.57
1	面積 開口	43.868

外壁	☒	外壁	この外壁面積から開口を引いています。
開口	☐	開口	

1 段、階層がズレて表示されます。

11) 図面側の線にマウスをあてると、右の表示に色がつきます。



開口の合算と個別の計測

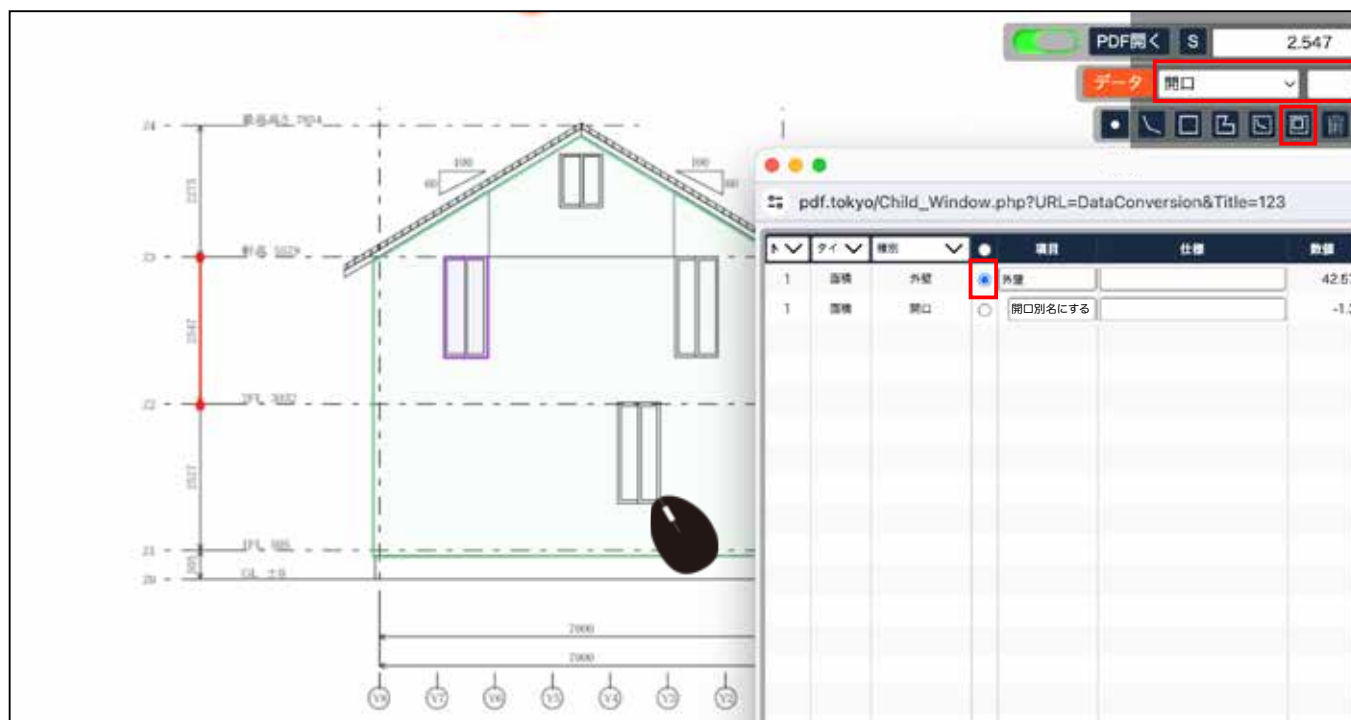
面積から開口を引く測り方 P22 ~からの続きです。

1) 開口を複数計測する場合、連続で測ると合算されますので、項目名を変えておきます。

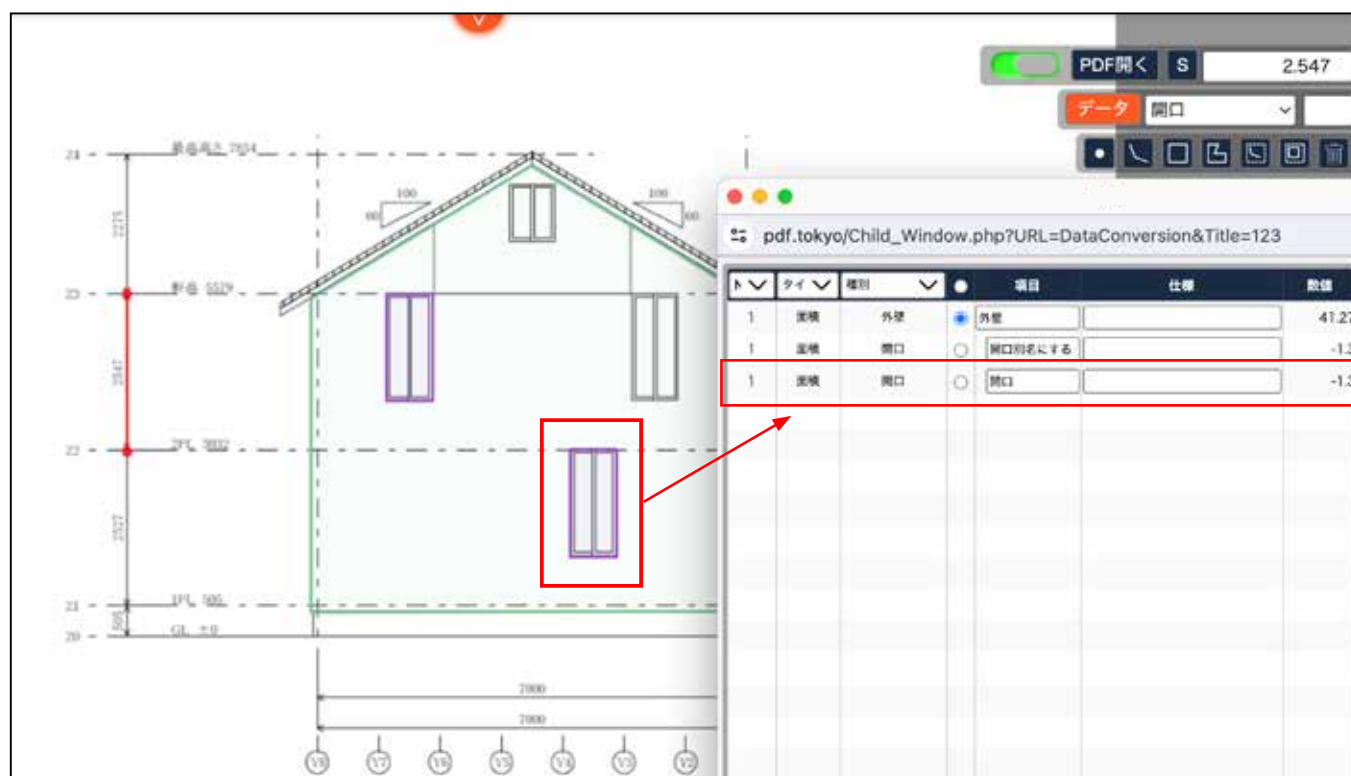
No. ▾	タイプ ▾	種別 ▾		項目	仕様	数値
1	面積	外壁	☐	外壁		42.57
1	面積	開口	☐	開口		-1.3

No. ▾	タイプ ▾	種別 ▾		項目	仕様	数値
1	面積	外壁	☐	外壁		42.57
1	面積	開口	☐	開口別名にする		-1.3

- 2) 追加の開口を測ります。 開口・開口面積アイコン選択・丸い青チェックの3箇所の確認をして再度別の開口を測ります。



- 3) 新しく測った開口が、データ表に表示されています。



4) 項目の名称を同じ名称にすると1つに集約されます。

▼	タイ ▼	種別 ▼	●	項目	仕様	数値
1	面積	外壁	☒	外壁		41.27
1	面積	開口	☐	開口別名にする		-1.3
1	面積	開口	☐	開口		-1.3

上の名称と同じにしてみます。

▼	タイ ▼	種別 ▼	●	項目	仕様	数値
1	面積	外壁	☒	外壁		41.27
1	面積	開口	☐	開口別名にする		-2.6

開口面積が集約されました。

5) 開口を全て測り終わったら、丸い青のチェックを外して別の部位を測ります。

種別 ▼	☒	項目	仕様
外壁	☐	外壁	
開口	☐	開口別名にする	

新しく別の箇所を測るときは、青いチェックを外すため、上部の青い丸をクリックします。

 忘れて次々に測ると、青い丸のチェックが入っている下に作成されてしまいます。

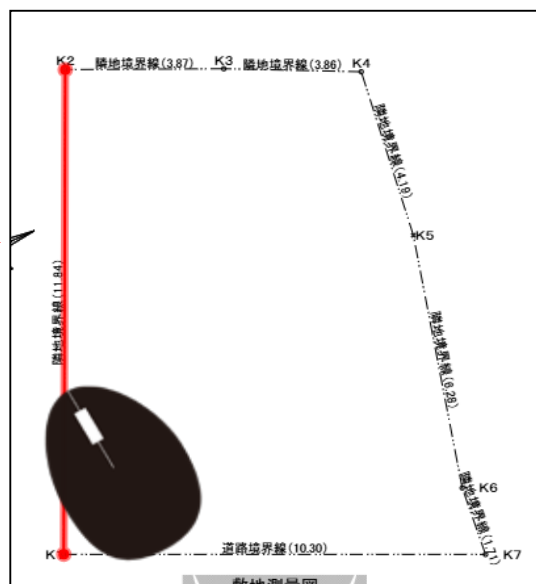
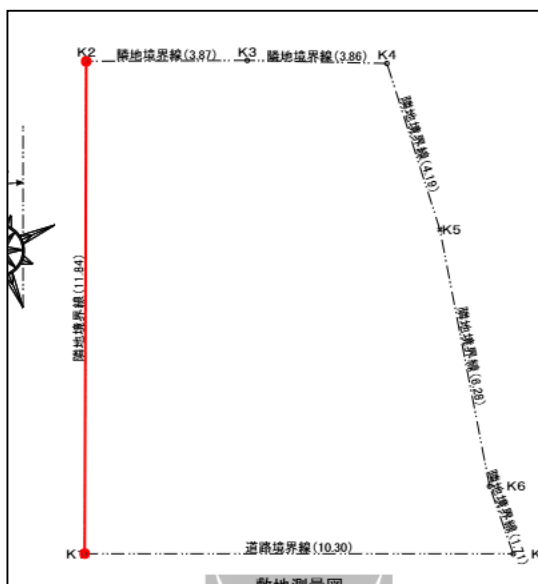
基準線の削除方法



1) 基準線が曲がってしまった場合などは、一旦削除します。



2) ゴミ箱をクリックします。



3) 基準線にマウスを当てると太くなり、クリックすると削除されます。



4) S の右横の数値が消えない場合は、カーソルをあて消します。

長さから開口を引く

1) 長さを測ります。 例として、長さの1階を選択します。

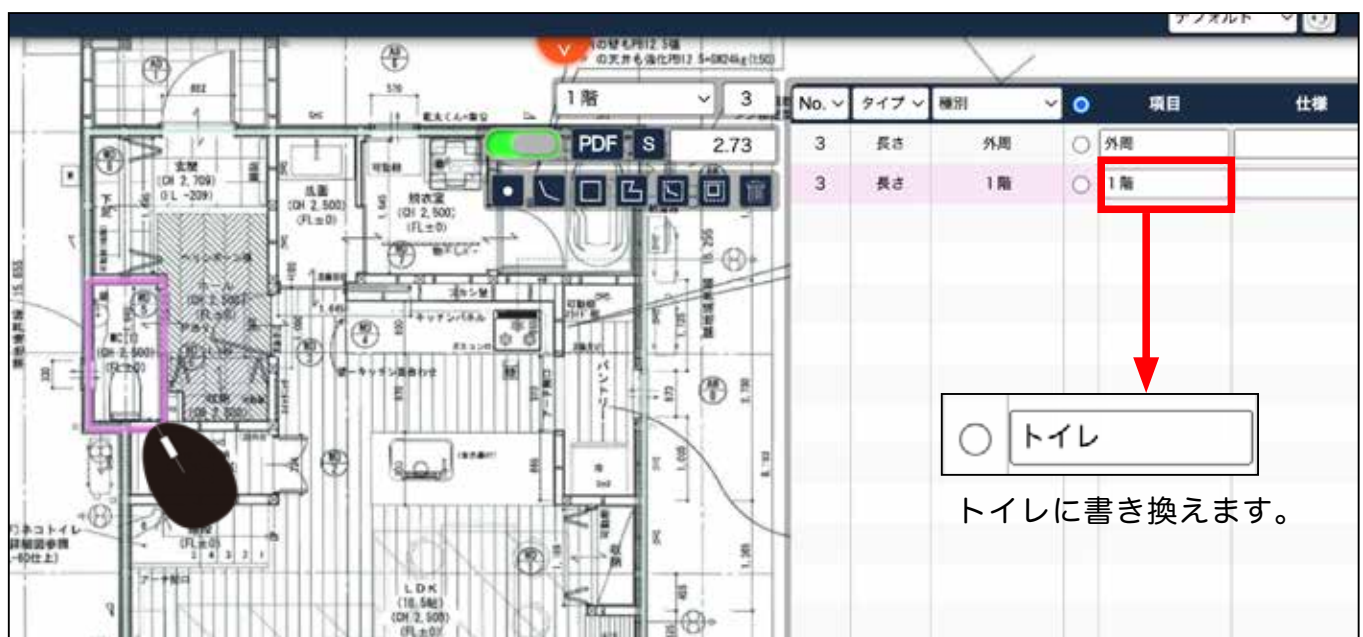


基準線を測っている前提です。
基準線の測り方 P16
マスタ設定をしている前提です。
マスタ設定は P5 に記載。

長さを選択します。



2) 1階のトイレの周長を測ります。



トイレに書き換えます。

3) 次に、開口を測ります。 長さの開口を選択します。



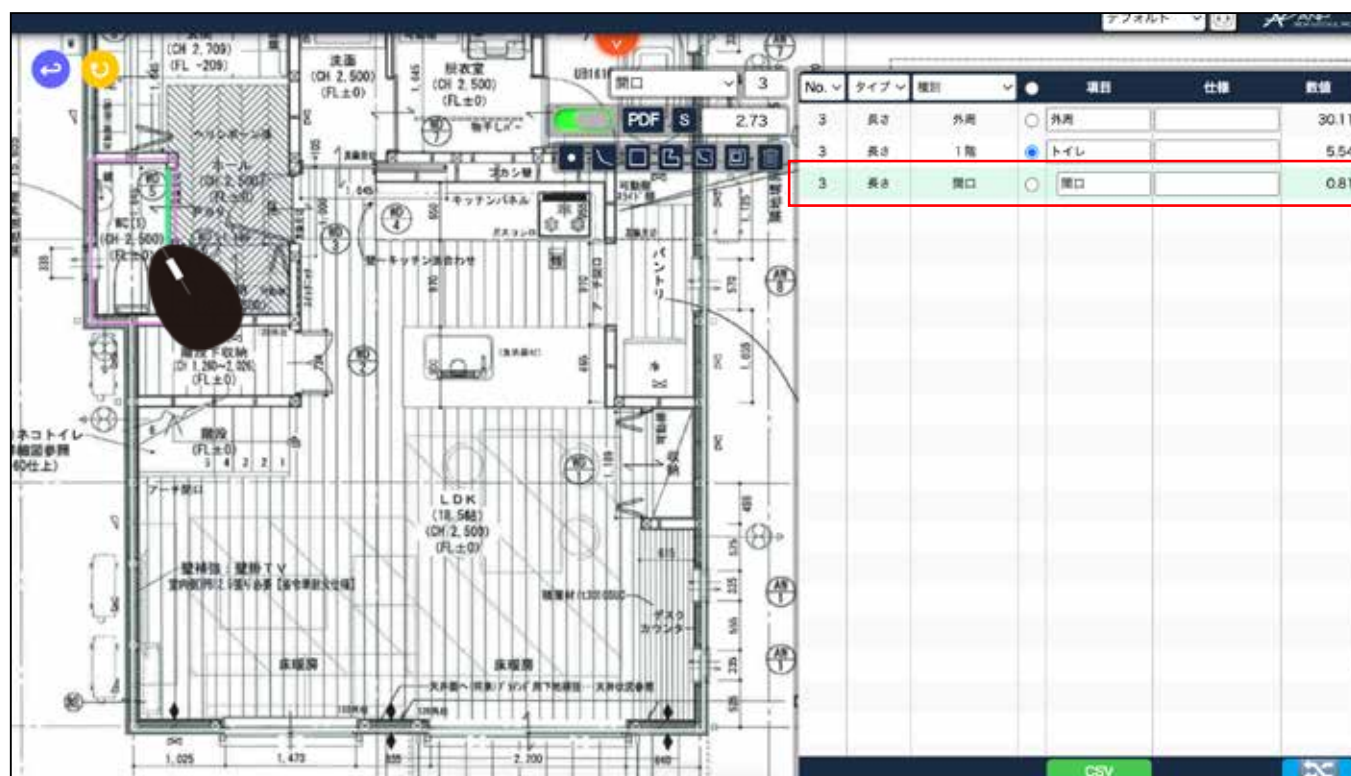
4) トイレの丸をチェックし、青い丸になったことを確認して、開口用線のアイコンをクリックします。



5) 開口を測ります。



6) 測った箇所にマウスをあてると右側に色がついて表示されます。



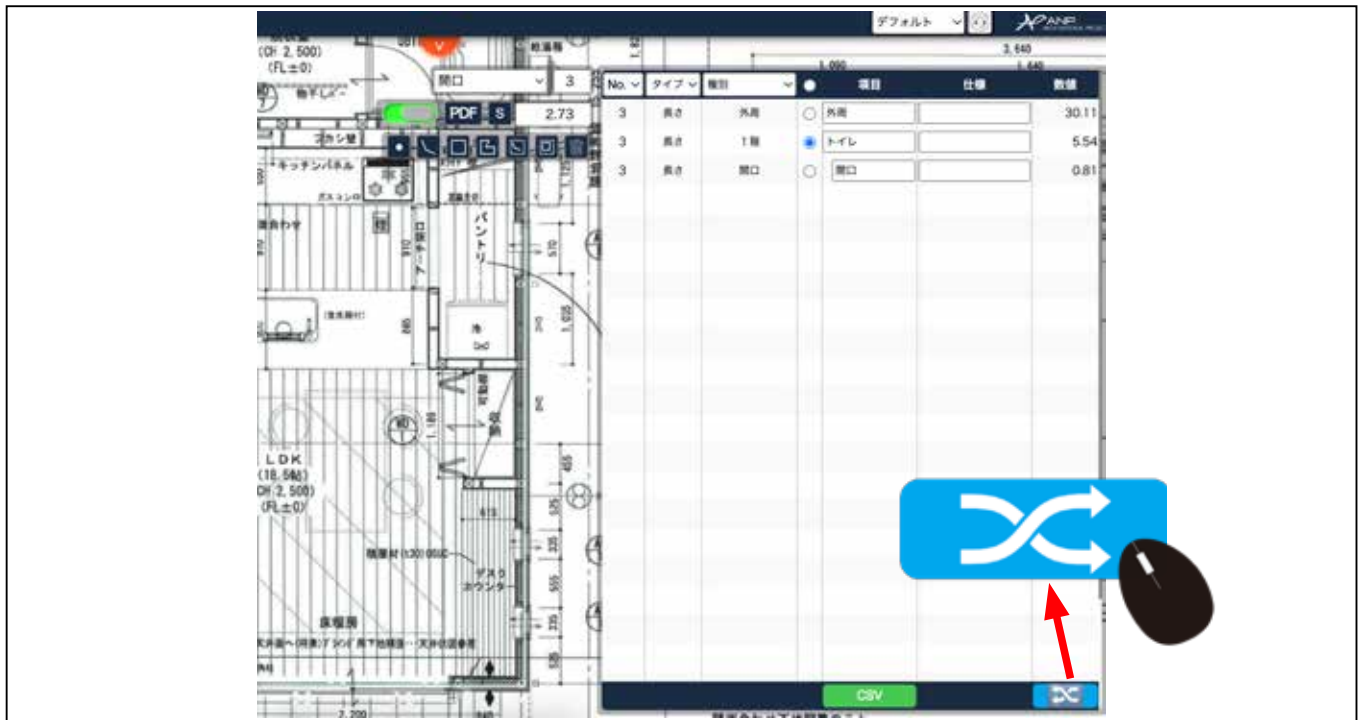
次ページから、計算式を活用した以下の数値を自動算出する説明があります。

- ①長さから内壁面積自動計算 P37 や、
- ②長さから内壁材料自動算出 P43、③長さから床面積 P46 など。

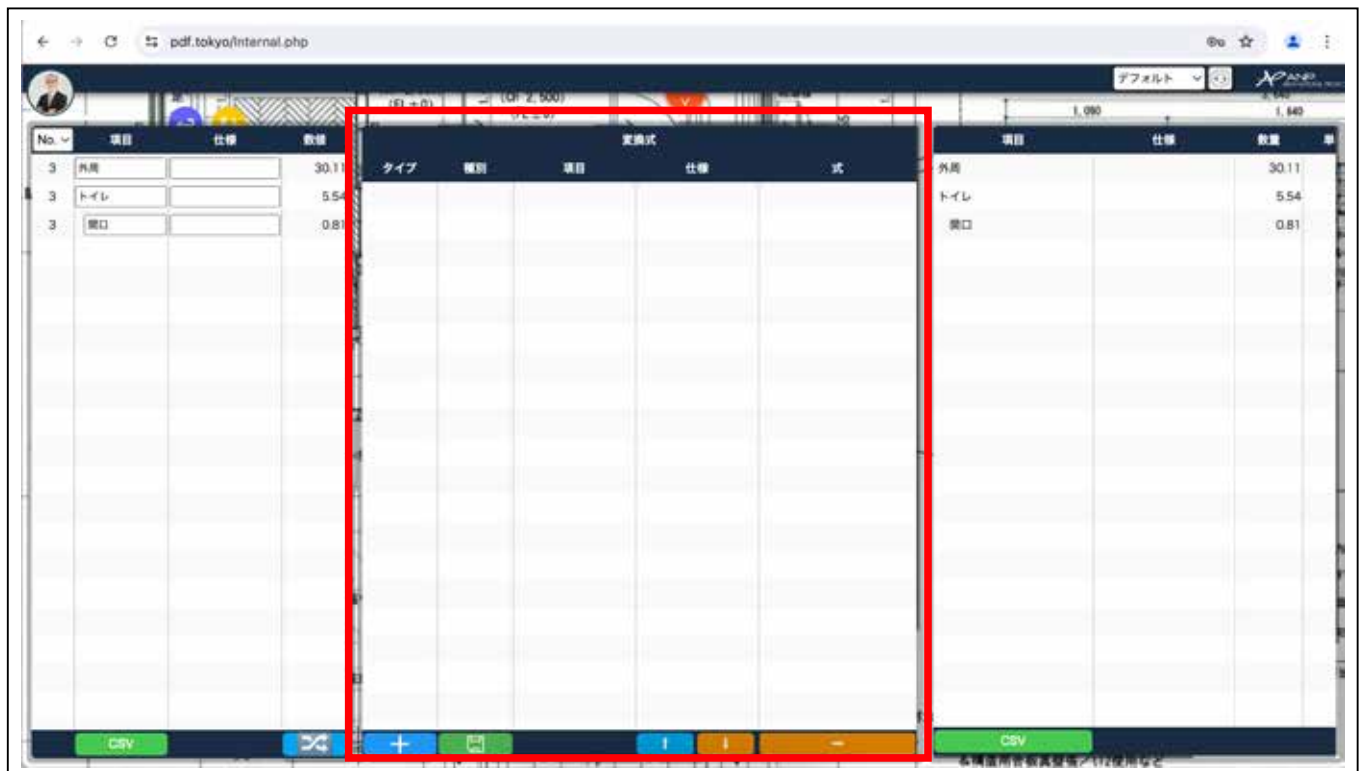
計算式を作成するー計算式の登録箇所ー

作成した計算式ファイルのダウンロードアップロード方法はP 61～

- 1) 計算式を作成します。下の  をクリックします。



- 2) 計算式の入力箇所は真ん中部分です。



[illegible]

5) 拾った数値を、計算式で展開するため、何を拾ったのかを設定します。

No.	項目	仕様	数値
3	外周		30.11
3	トイレ		5.54
3	開口		0.81

拾った時と同じ内容にします。

ここでは P31 ~ 33 で拾った、[長さ] の [1階]、[トイレ] を入力設定します。

長さ	1階	トイレ	開口	数値
長さ	1階	●	○	5.54
長さ	開口	○	○	0.81

6) 入力設定後、右の青いアイコンをクリックします。

タイプ	種別	項目	仕様	式
長さ	1階	トイレ		置換: []

7) 計算式入力画面が開きます。

↓長さから内壁面積を出す式

8) 長さ から内壁面積を出す式を設定します。右上の  で一旦閉じます。

単位は、メニューの設定>単位マスターで設定しておく必要があります。

9) 右側の画面に、内壁面積が表示されています。(ここではまだ開口を引いてません。)

変換式					項目	仕様	数量
タイプ	種別	項目	仕様	式			
長さ	1階	トイレ			外周		30.11
					トイレ内壁面積		13.29m2
					開口		0.81

No.▼	項目	仕様	数量
3	外周		30.11
3	トイレ		5.54
3	開口		0.81

元々は、長さとしてP31～P33にて5.54を拾っていましたが、内壁面積に計算式で自動変換されています。

↓ 内壁面積から開口を引く式

10) 次に、開口を内壁面積から引く計算式を作成します。左側の最初に拾った数値が表示されている箇所の 開口 の、項目名をトイレドアに変更します。

No.▼	タイプ▼	種別▼	項目	仕様	数値
3	長さ	外周	外周		30.11
3	長さ	1階	トイレ		5.54
3	長さ	開口	トイレドア		0.81

3	トイレ		5.54
3	開口		0.81

部材マスターにトイレドアが登録されている前提です。
部材マスターは、メニュー／設定／部材マスターで登録できます。 部材マスタ登録方法は P48 ～

1 1) 部材マスターに登録されている仕様が候補で表示されるので選択します。

No. ▾	タイプ ▾	種別 ▾	☒	項目	仕様	数値
3	長さ	外周	☐	外周		30.11
3	長さ	1階	☐	トイレ		5.54
3	長さ	開口	☐	トイレドア	▼ 810X2000	0.81

部材マスターに、トイレドア／810X2000のサイズが登録されている前提です。
部材マスターは、メニュー／設定／部材マスターで登録できます。部材マスタ登録方法はP48～

1 2) 再度、計算式の追加ボタンをクリックします。

項目	仕様	数値
外周		30.11
トイレ		5.54
トイレドア	810X2000	0.81

タイプ	種別	項目	仕様	式
長さ	1階	トイレ		

項目	仕様	数値
外周		30.11
トイレ内壁面積		13.20
トイレドア	810X2000	0.81

CSV 計算式 システム設定 CSV

1 3) 新しい行が追加されます。

変換式				
タイプ	種別	項目	仕様	式
長さ	1階	トイレ		置換:{
				置換:{

1 4) 長さ 開口 トイレドア 810X2000 を入力します。 右の青いアイコンをクリックします。
(部材マスターに登録されている前提)

タイプ	種別	項目	仕様	式
長さ	1階	トイレ		置換:{
長さ	開口	トイレドア	810X2000	置換:{

- 15) タイプ=面積、種別=開口、項目=任意、仕様=任意、単位=任意を入力します。
計算式には、カッコ(を入れ、部材 W、部材 H、を入れ、 返しカッコ)を入れ、
単位を調整する数値を入れます。

タイプ	面積
種別	開口
項目	トイレドア
仕様	810X2000
数量	
単位	m2
計算式	(部材W*部材H)/1000000
原価単価	
見積単価	
分割足す	

(部材W*部材H)/1000000

ここで部材 W と部材 H を設定することで、別のメーカー、別サイズのトイレドアでも正しい数値で計算します。

- 16) 右上のバツで一旦閉じます。

タイプ	面積
種別	開口
項目	トイレドア
仕様	810X2000
数量	
単位	m2
計算式	(部材W*部材H)/1000000
原価単価	
見積単価	
分割足す	

17) 右側に開口面積が表示されています。

変換式					項目	仕様	数量	単
タイプ	種別	項目	仕様	式				
長さ	1階	トイレ		置換[	外周		30.11	
長さ	開口	トイレドア	810X2000	置換[	トイレ内壁面積		11.67 m2	
					トイレドア	810X2000	-1.62 m2	

18) 元の内壁面積にマウスをあてると、開口を引く前の面積が表示されます。
計算式を保存してください。

変換式					項目	仕様	数量	単
種別	項目	仕様	式					
1階	トイレ		置換[		外周		30.11	
開口	トイレドア	810X2000	置換[		トイレ内壁面積		11.67 m2	
					トイレドア	810X2000	-1 13.29	

計算式は自動保存されません。必ず保存ボタンをクリックして保存してください。

+

☁

📁

💾

内壁面積に材料を設定する式

P37 ～長さから内壁面積の式の続きです。

- 次に、開口を引いた内壁面積に材料を設定する計算式を入力します。
長さ 1階 トイレ の式の青いアイコンをクリックします。

変換式				
タイプ	種別	項目	仕様	式
長さ	1階	トイレ		置換:{
長さ	開口	トイレドア	810X2000	置換:{

↓ 計算式の追加 詳しくは P46

- 分割足す をクリックし、左側の薄いグレーをクリックし、
項目=任意、単位=任意、計算式= 基数 を、選択します。ロス率などを設定する場合は、
X ロス率を入れてください。

②

トイレ内壁面積

タイプ

種別

項目

仕様

数量

単位

計算式

原価単価

見積単価

分割足す

削除：置換

③

項目

仕様

数量

単位

計算式

原価単価

見積単価

0000

単位

長さ 面積 長辺 短辺 基数 部材W 部材H 部材L + - × ÷ () 切上 切捨 四捨五入

長さ*2.4

基数

ここで言う「基数」は、一番はじめに作成した内壁面積です。(開口分引かれた後の数値)

3) 右側に、項目＝任意、単位＝任意、計算式＝ 基数が表示されます。

項目	仕様	数量	単
外周		30.11	
トイレ内壁面積		11.67 m2	
0000		11.67 m2	
トイレドア	810X2000	-1.62 m2	

↓ 割り付けの式（整数切上げ）

- 1) 次に、内壁面積から割り付けする材料などの計算式は、割り付ける材料の面積で割り、整数切り上げにします。（一番はじめの計算式から「分割足す」「左の薄いグレー」をクリックしてから式を入力します。式の追加は P46 と P43 下部記載）

計算式簡易作成

トイレ内壁面積

0000

割り付けなど

タイプ

種別

項目

仕様

数量

単位

計算式

原価単価

見積単価

分割足す

割り付けなど

枚

単位は枚などに変更します。

長さ 面積 長辺 短辺 基数 部材W 部材H 部材L + - * / () 切上 切捨 四捨五入

切上(基数/1.65)

切上(基数/1.65)

2) 右側に割り付けた結果が表示されます。

項目	仕様	数量	単
外周		30.11	
トイレ内壁面積		11.67	m2
oooo		11.67	m2
割り付けなど		8	枚
トイレドア	810X2000	-1.62	m2

↓長さから床面積を出す式

1) 次に、床面積を計算式に追加します。右の青いアイコンをクリックして計算式を開きます。

変換式					項目	仕様	数量	単
タイプ	種別	項目	仕様	式				
長さ ▾	1階	トイレ		置換[	外周		30.11	
					トイレ内壁面積		11.67 m2	
長さ ▾	開口	トイレドア	810X2000	置換[	トイレドア		11.67 m2	
					付けなど		8 枚	
					トイレドア	810X2000	-1.62 m2	

2) 分割足をクリックします。

トイレ内壁面積	タイプ	面積
0000	種別	
割り付けなど	項目	トイレ内壁面積
	仕様	
	数量	
	単位	m2
	計算式	長さ 面積 長辺 短辺 基数 部材W 部材H 部材L + - * / () 切上 切捨 四捨五入
	原価単価	長さ*2.4
	見積単価	
	分割足す	削除：置換 0000
		削除：置換 割り付けなど
		削除：置換

3) 1行追加されるので、左側の薄いグレーをクリックします。

トイレ内壁面積	タイプ	面積
0000	種別	
割り付けなど	項目	トイレ内壁面積
	仕様	
	数量	
	単位	m2
	計算式	長さ 面積 長辺 短辺 基数 部材W 部材H 部材L + - * / () 切上 切捨 四捨五入
	原価単価	長さ*2.4
	見積単価	
	分割足す	削除：置換 0000
		削除：置換 割り付けなど
		削除：置換

式を間違えたり消す場合はここをクリックします。

4) タイプ=面積、項目=任意、単位=任意、計算式= 面積をクリックします。

計算式

タイプ: 面積

種別:

項目: 床面積

仕様:

数量:

単位: m2

計算式: 長さ 面積 長辺 短辺 基数 部材W 部材H 部材L + - * / () 切上 切下 四捨五入

原価単価:

見積単価:

分割寸法:

5) 右側に 床面積が表示されます。式を保存します。

タイプ	種別	項目	仕様	式	項目	仕様	数量	単
長さ	1階	トイレ		置換[]	外周		30.11	
長さ	開口	トイレドア	810X2000	置換[]	トイレ内壁面積		11.67 m2	
					oooo		11.67 m2	
					割り付けなど		8 枚	
					床面積		1.71 m2	
					トイレドア	810X2000	-1.62 m2	

元の数量は、長さ 1階 トイレとして計測した長さから床面積を算出しています。P31 記載

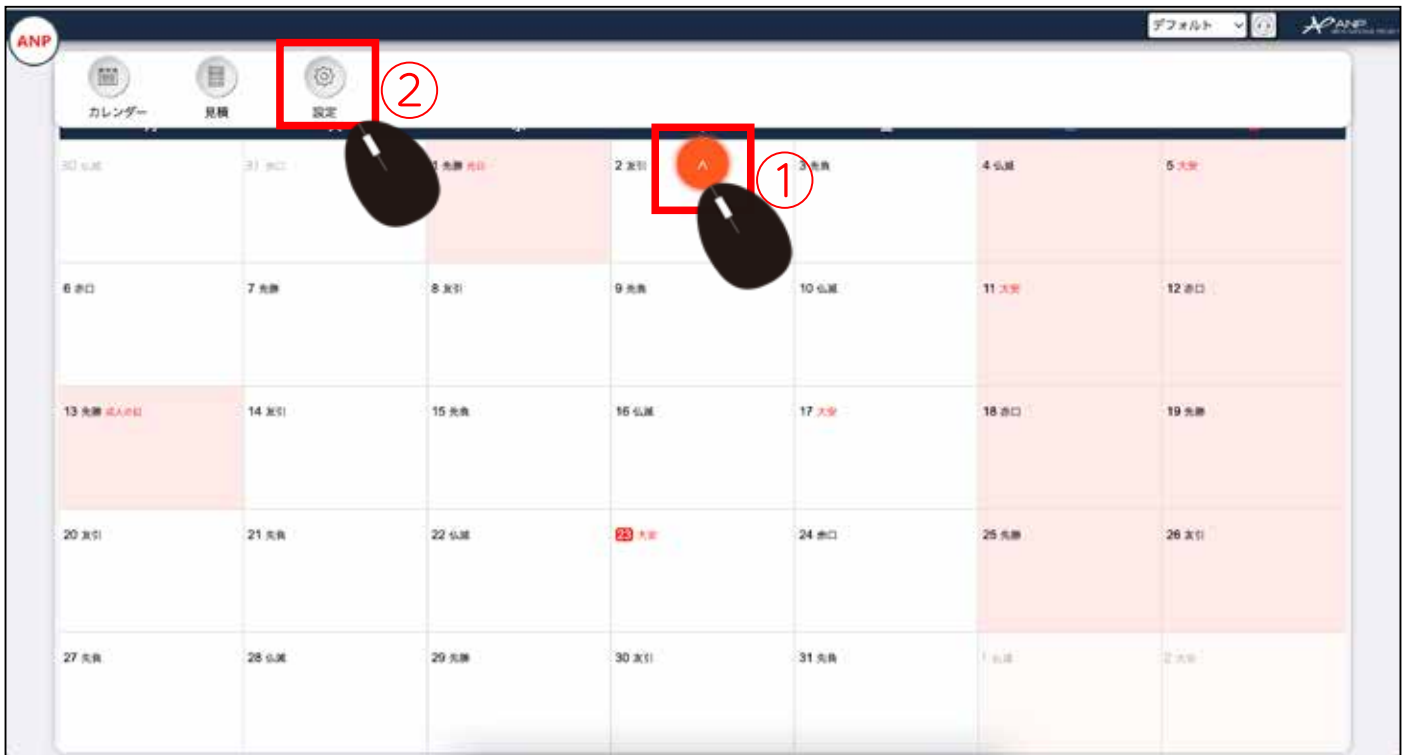


計算式は自動保存されません。必ず保存ボタンをクリックして保存してください。

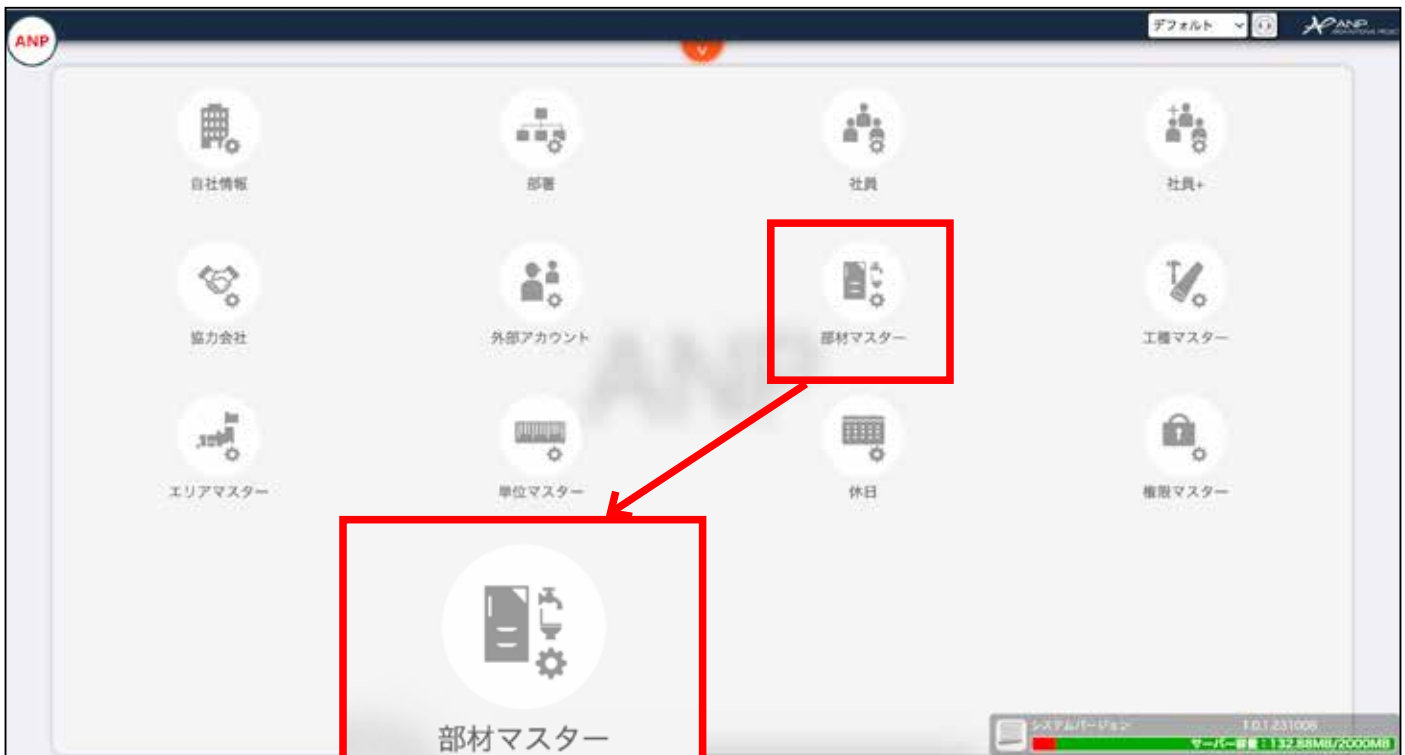


部材マスターと連動する 一部材マスター登録ー

1) メニューの設定をクリックします。



2) 部材マスターを選択します。 設定直下のメニューは各社様の納品内容により異なります。



3) 部材マスター一覧が表示されます。 新規追加のアイコンをクリックします。



4) 取込み用画面が開きます。 CSV でも取り込むことが可能ですが、手入力でも可能です。



CSV データからの取込み： ファイル選択画面が開きます。
その後、取込みたい項目と、部材マスターの箇所を合わせます。

5) 部材マスタに取り込むことが可能なリストが表示されています。

部材マスタの タイプ・種別を、PDF 積算側のマスタの、タイプと名前と同じにします。

同じにしなければ、PDF 積算側で選択候補に出ません。

タイプ	種別	部材番号	メーカー	名称	仕様
-----	----	------	------	----	----

【設定／部材マスター側】

【PDF 積算側のマスター側】

面積タイプ			長さタイプ			部材タイプ		
順	名前	色	順	名前	色	順	名前	色
1	外壁	緑	1	開口	緑	1	窓	緑
2	1階	茶	2	外部	茶	2	開口	緑
3	2階	茶	3	内部	茶	3	収納	緑
4	外部	茶	4	外壁	茶	4	設備	紫
5	開口	茶	5	内壁	茶	5	屋根材	茶

6) 部材マスタの 名称 と 仕様 仕様データ 単位 を入力します。

単位は、設定／単位マスターに登録していないと選択できません。

タイプ	種別	部材番号	メーカー	名称	仕様	仕様データ	工種	エリア	単位	原価	肉価
						L: mm 0 W: mm 0 H: mm 0	工種	地域名	単位	0	0

PDF 積算側の項目名です。 PDF 積算側の仕様。

仕様データ

L: mm 0

W: mm 0

H: mm 0

部材の長さや幅、高さを入力すると、PDF 積算側で自動で面積などを差し引いたり、長さや幅を自動計算できます。



部材マスターと連動する 一部材マスタからの読み出し

- 1) 部材マスターに、部材 設備 洗面台 と登録し商品を複数登録、それぞれのサイズを入力します。

タイプ	種別	名称	仕様	金額グラフ	仕様詳細	特記	サイズ
☐	部材	設備	洗面台				L:mr500 W:mr700 H:mr1900
☐	部材	設備	洗面台				L:mr500 W:mr600 H:mr1900
☐	部材	設備	洗面台		クレヴィー 750X奥行500ミラーキャビネット付きH1900		L:mr500 W:mr750 H:mr1900
☐	部材	設備	洗面台		エスクアLS LDSLA		L:mm 0 W:mr1000 H:mr800
☐	部材	設備	洗面台		ルミシス 750 陶器ボウル		L:mr750 W:mr750 H:mr1900
☐	部材	設備	洗面台		シーライン		L:mm 0 W:mr600 H:mr1800
☐	部材	設備	洗面台		クレヴィー 750X奥行560ミラーキャビネット付きH1900		L:mr560 W:mr750 H:mr1900

- 2) PDF 積算側では、このように選択できるようになります。

No. ▾	タイプ ▾	種別 ▾	項目	仕様	数値
—3	部材	設備	洗面台	▼ 2 1 クレヴィー 750X奥行560ミラー... クレヴィー 750X奥行500ミラー... エスクアLS LDSLA ルミシス 750 陶器ボウル シーライン W780×H2200	1

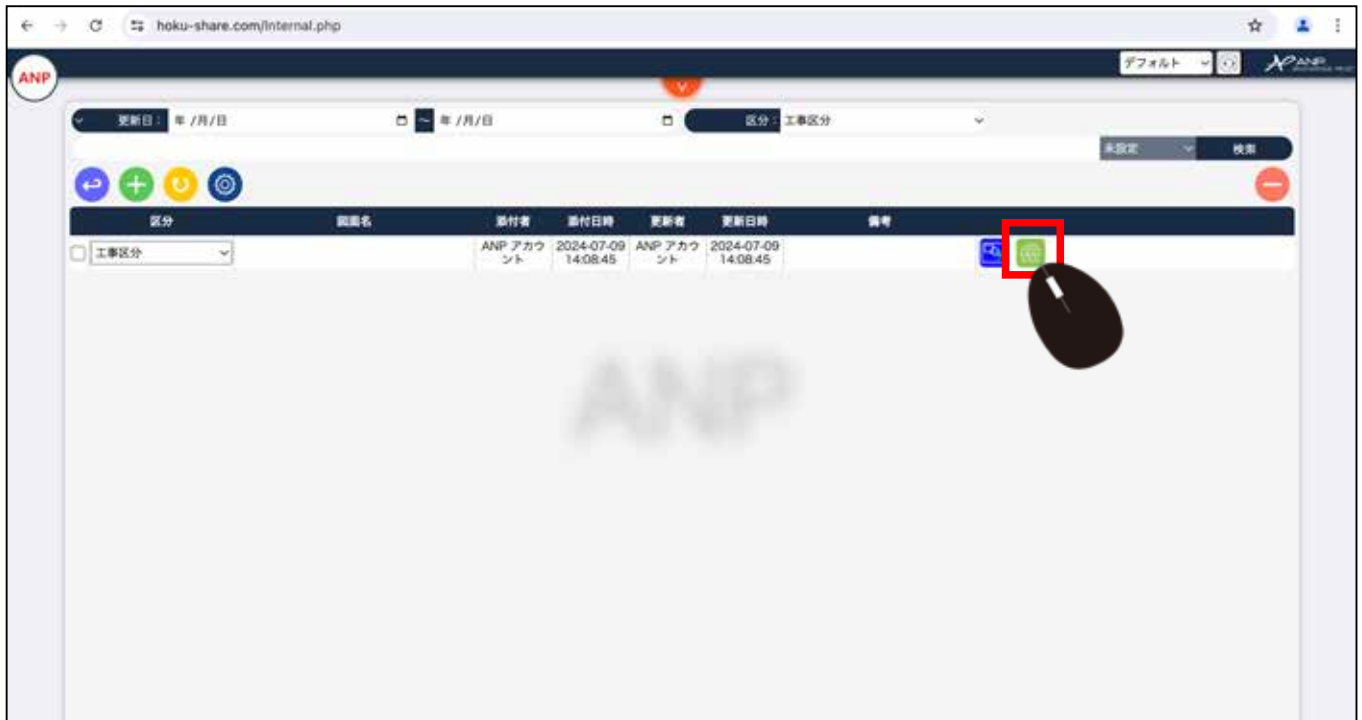
部材マスタと同じ選択をする。

①の部分は、最初は設備と表示されるので、洗面台 と書き換えます。
 すると、右側の②の箇所の▼をクリックすると部材マスタの候補が表示されます。

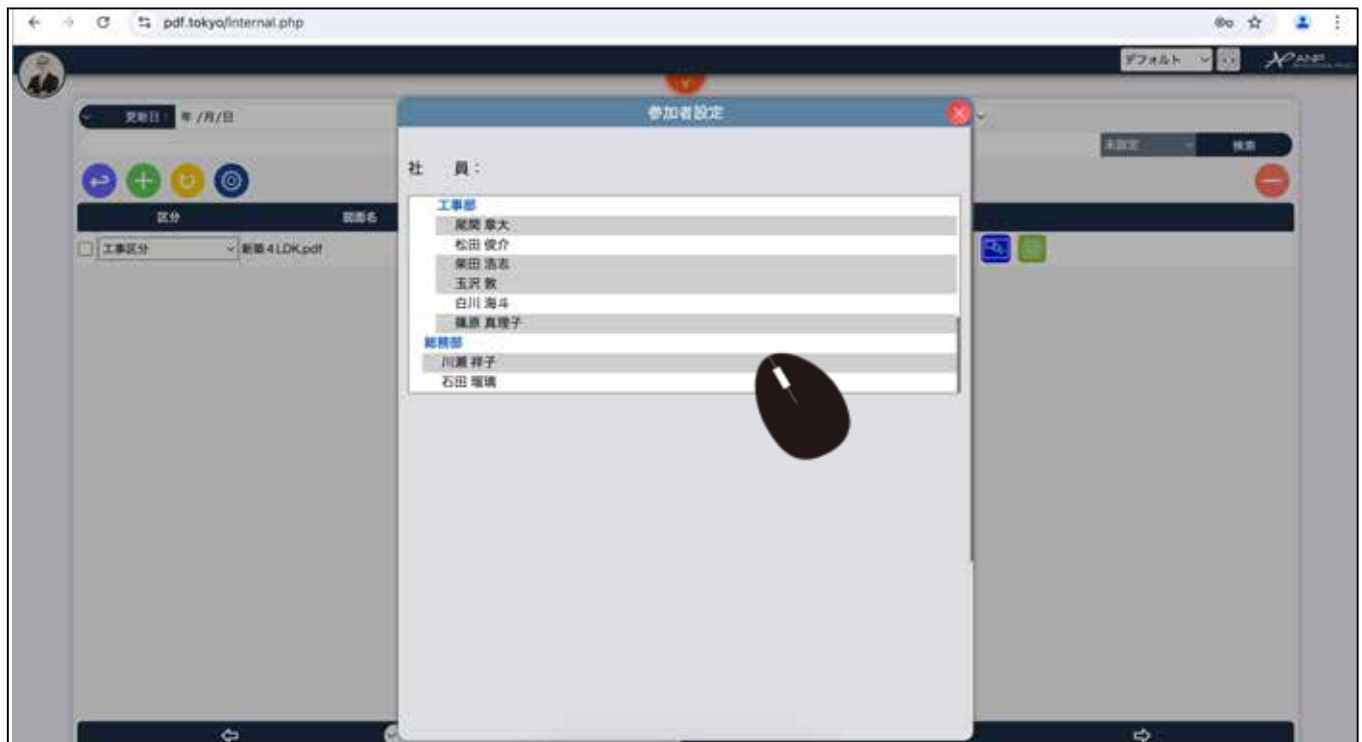
【ヒント】PDF 積算のマスタに（設備）ではなく、（洗面台）と登録していれば、①の（項目）の箇所を書き換える作業は必要ありません。
 PDF 積算側のマスタを細かい設定にするとマスタの数が増えるため、例として（設備）と登録しています。

権限について

- 1) PDF 積算の一覧にある  は、権限を設定できます。 クリックして開きます。

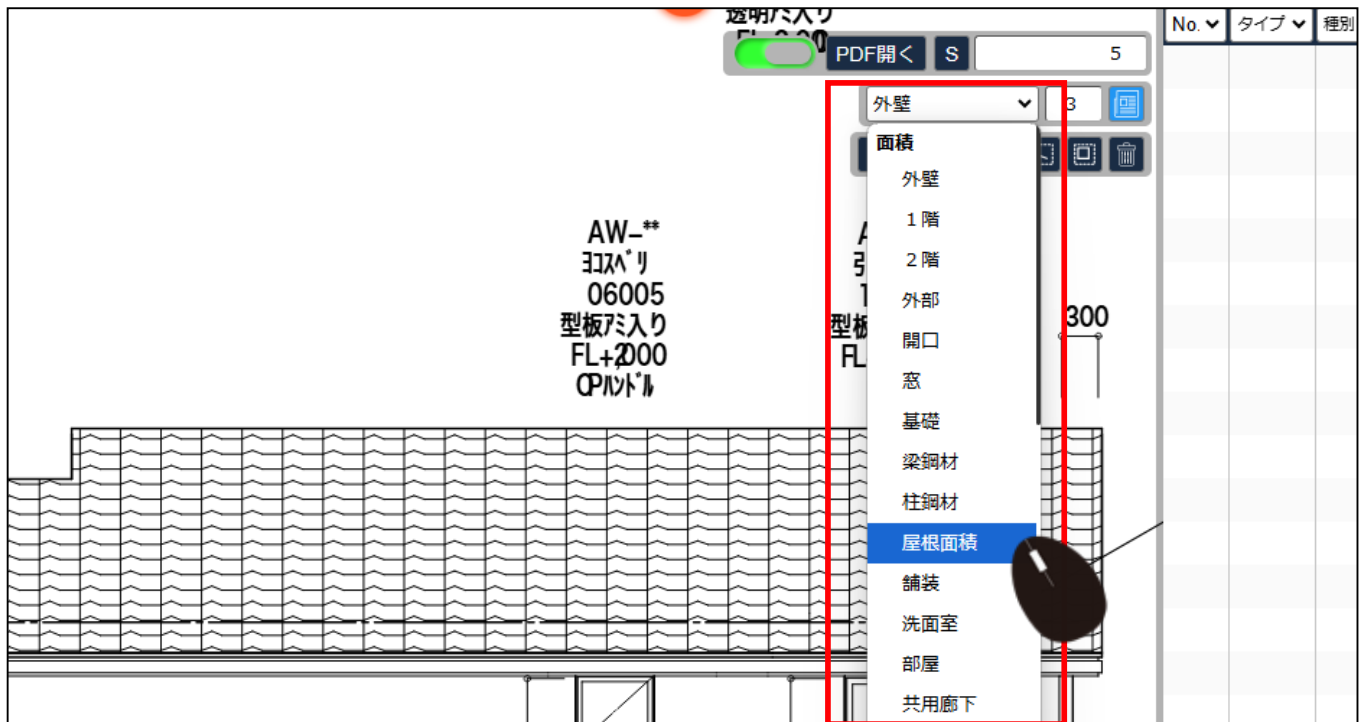


- 2) 閲覧・編集できるアカウントを選択します。 Shift キーや Ctrl キーを同時に押すことで複数選択できます。 選択しない場合は、他の ID の人には見えません。自分だけが閲覧、編集できるだけです。



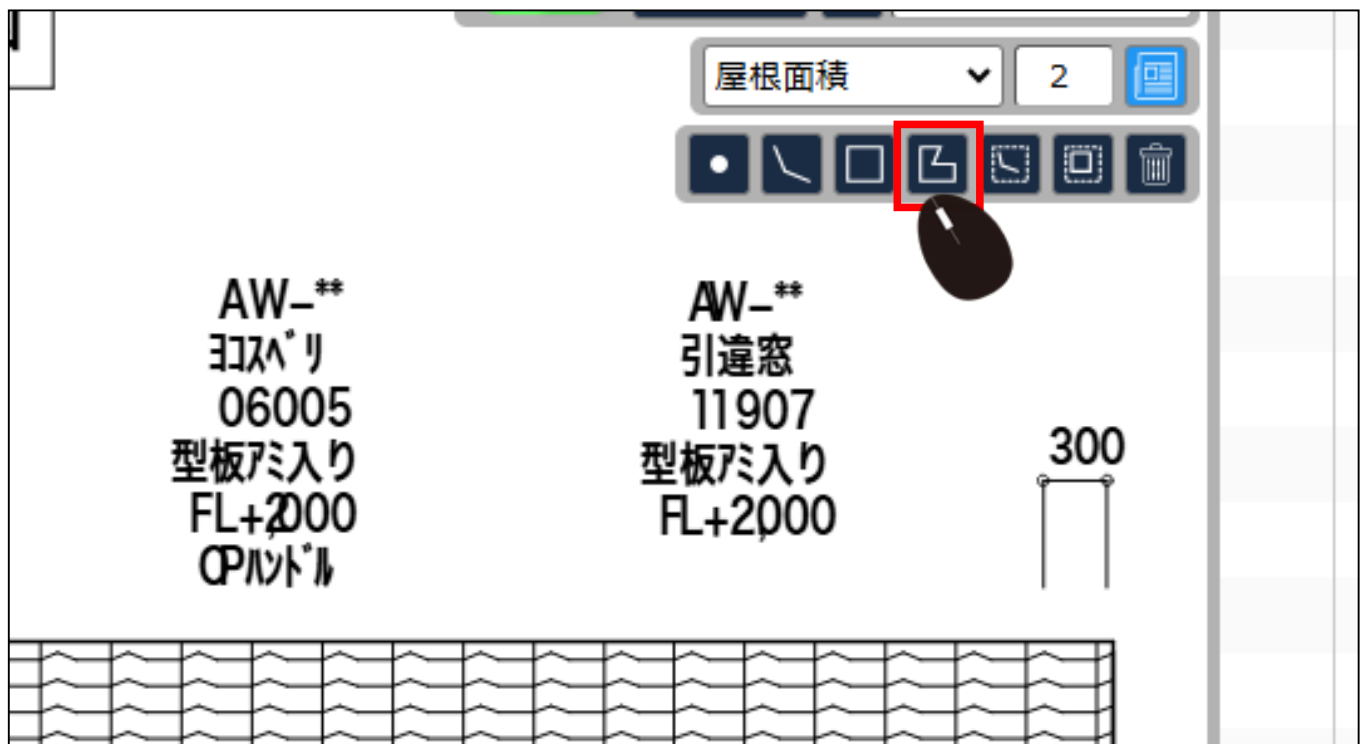
屋根の測り方 ー立面図からー

- 1) 選択で、面積 屋根屋根を選択します。(自社のマスタ設定で作成している内容を選択してください。(例：面積 南面 屋根 など))

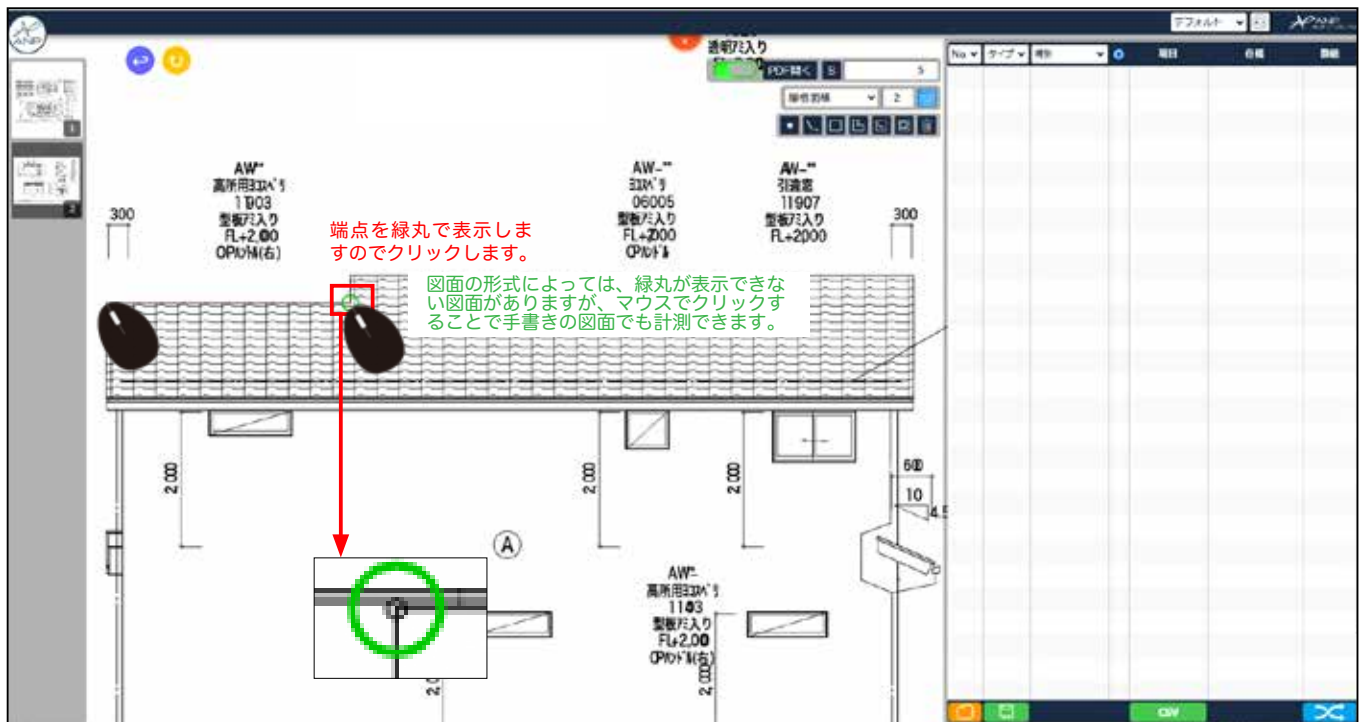


図面をアップし、保存後、基準線を設定してる前提です。(マスタも登録済みの前提です。)

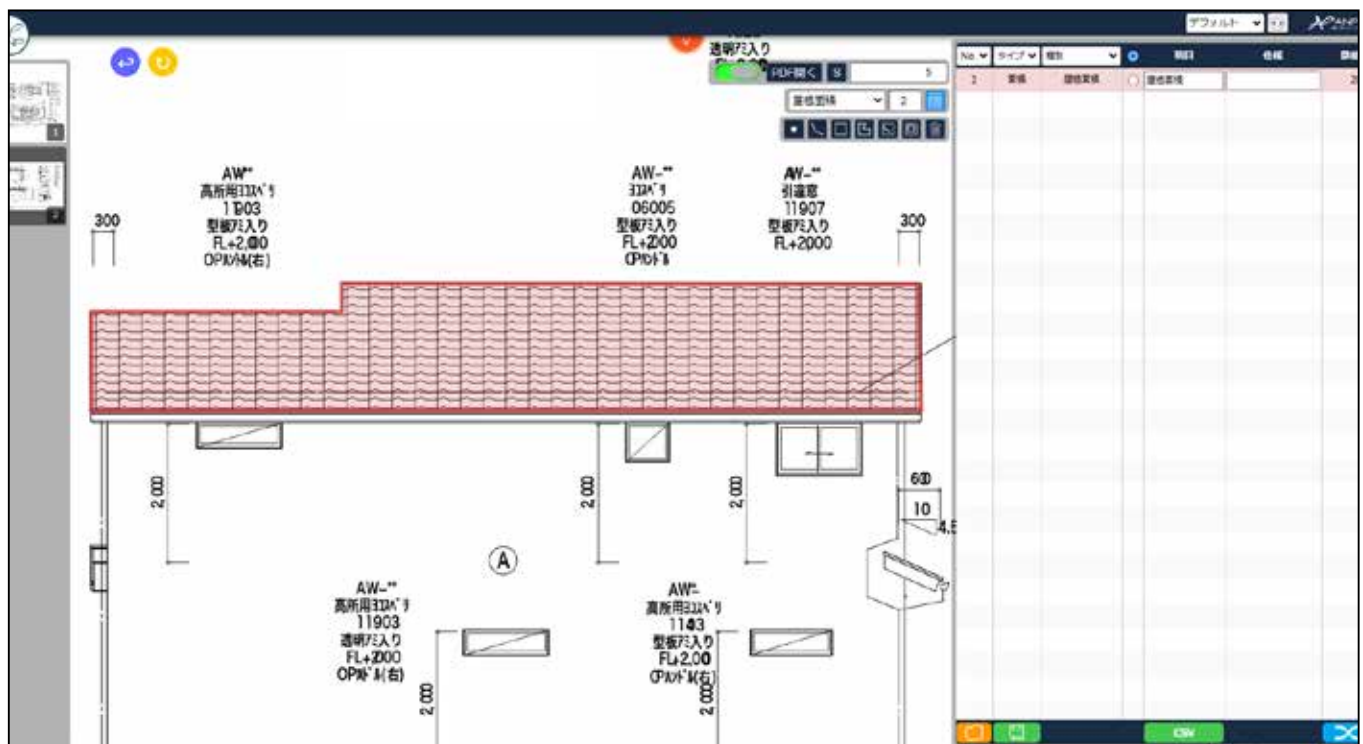
- 2) 多変形アイコンを選択します。



- 3) マウスで屋根の面積部分を囲みます。 この時、線に忠実に囲むことでより正確な数値を計測できます。



- 4) 囲み終わったら Enter キーを押します。

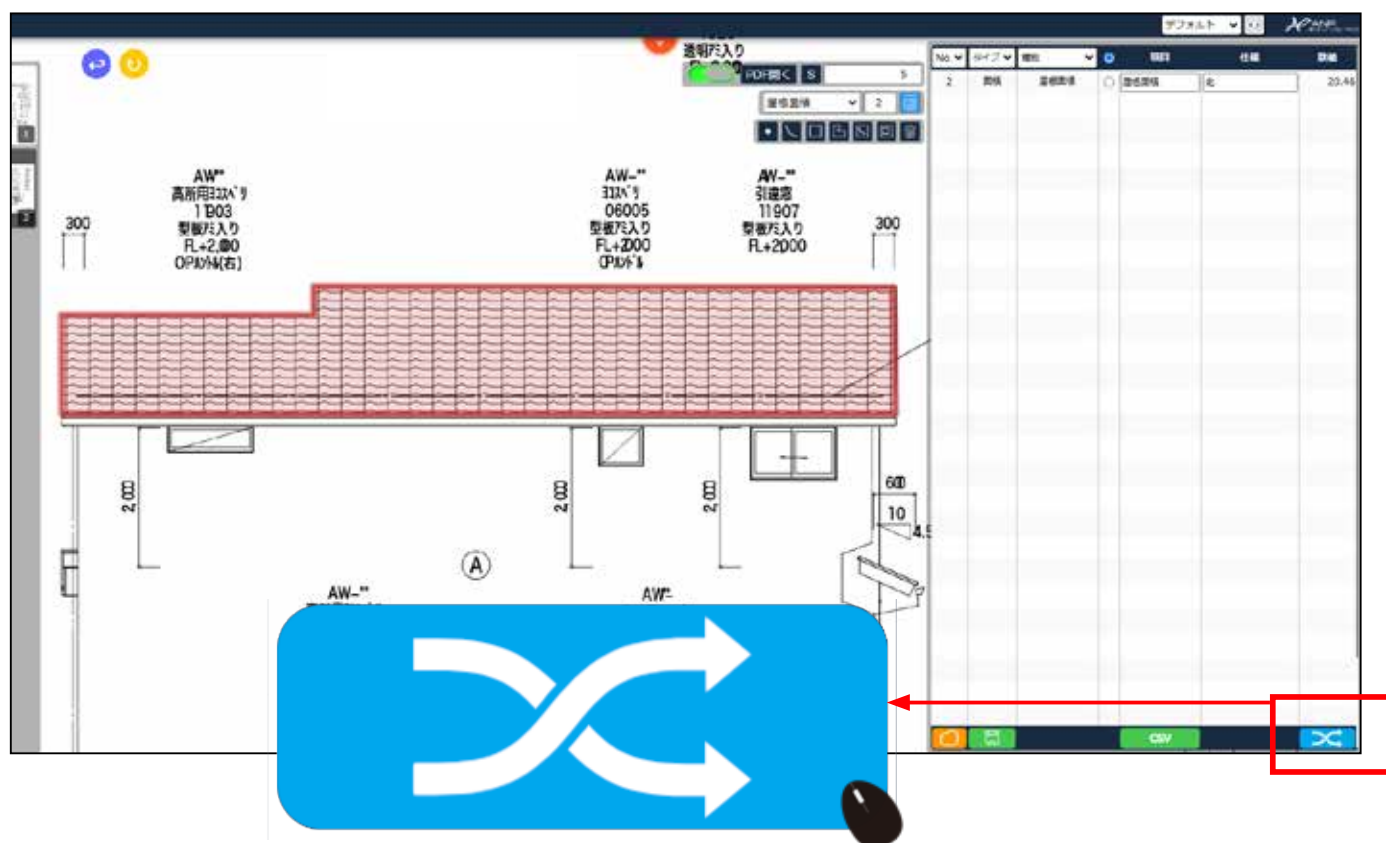


- 5) データー一覧表（画面右側）に計測された数値が表示されます。どの面かを区別するため、今回は例として 北 と仕様の箇所に記入しておきます。

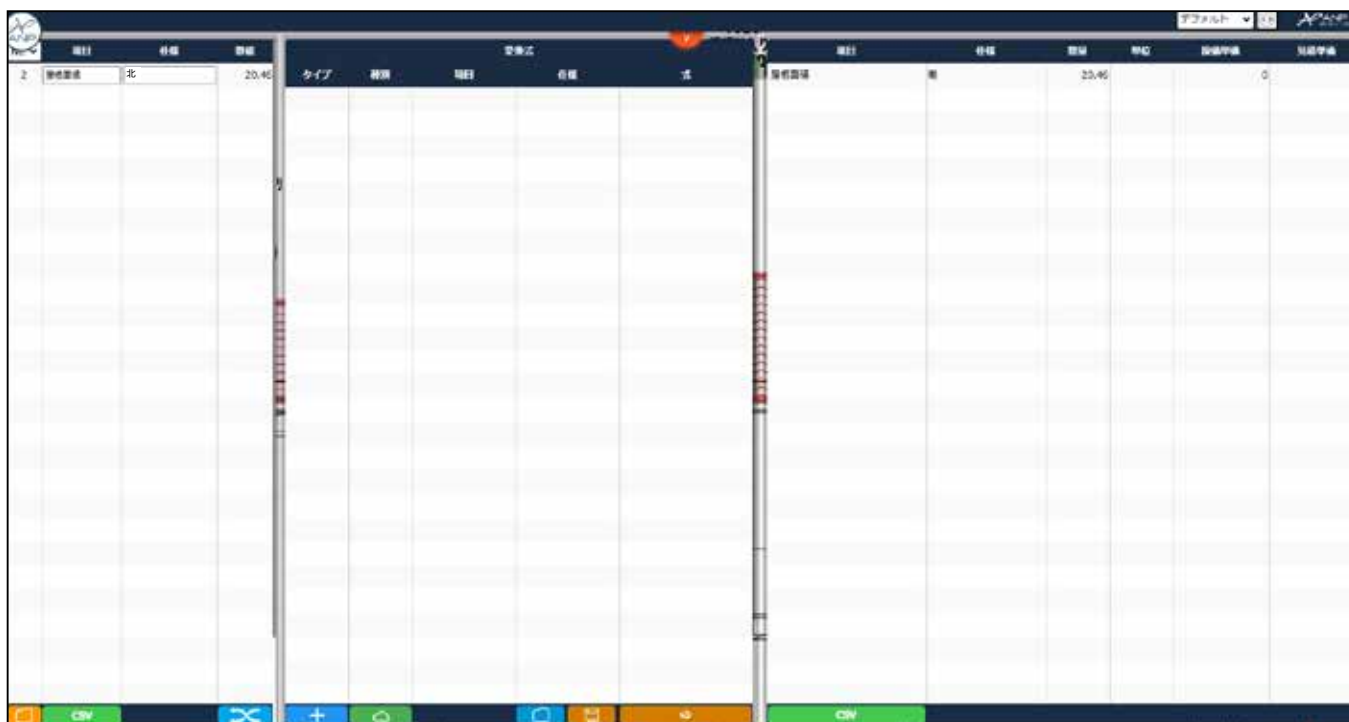


No.	タイプ	種別	項目	仕様	数値
2	面積	屋根面積	屋根面積	北	20.46

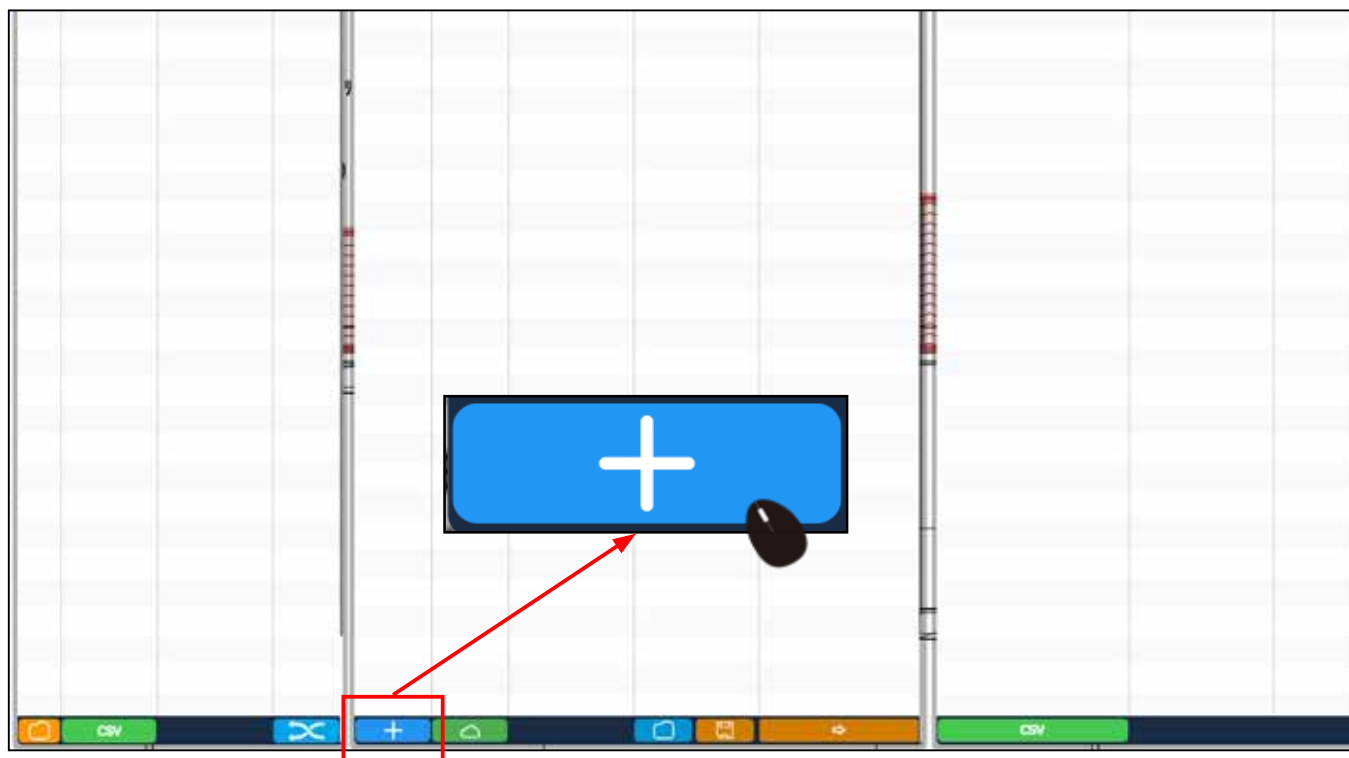
- 6) 画面右下の 計算式表示のボタンをクリックします。



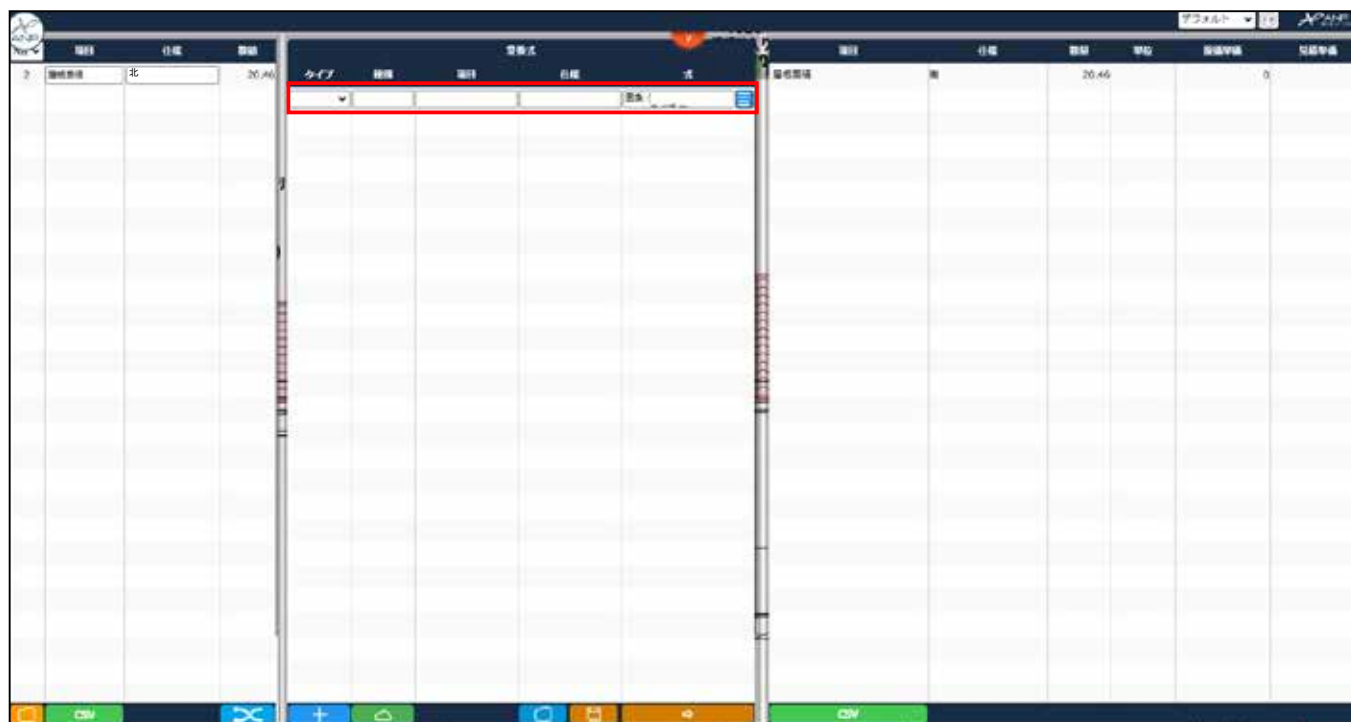
- 7) データ一覧表（画面右側）が左側に、真ん中に計算式、右側に計算式を通した後の数値が表示されます。



- 8) 計算式の新規作成ボタンをクリックします。



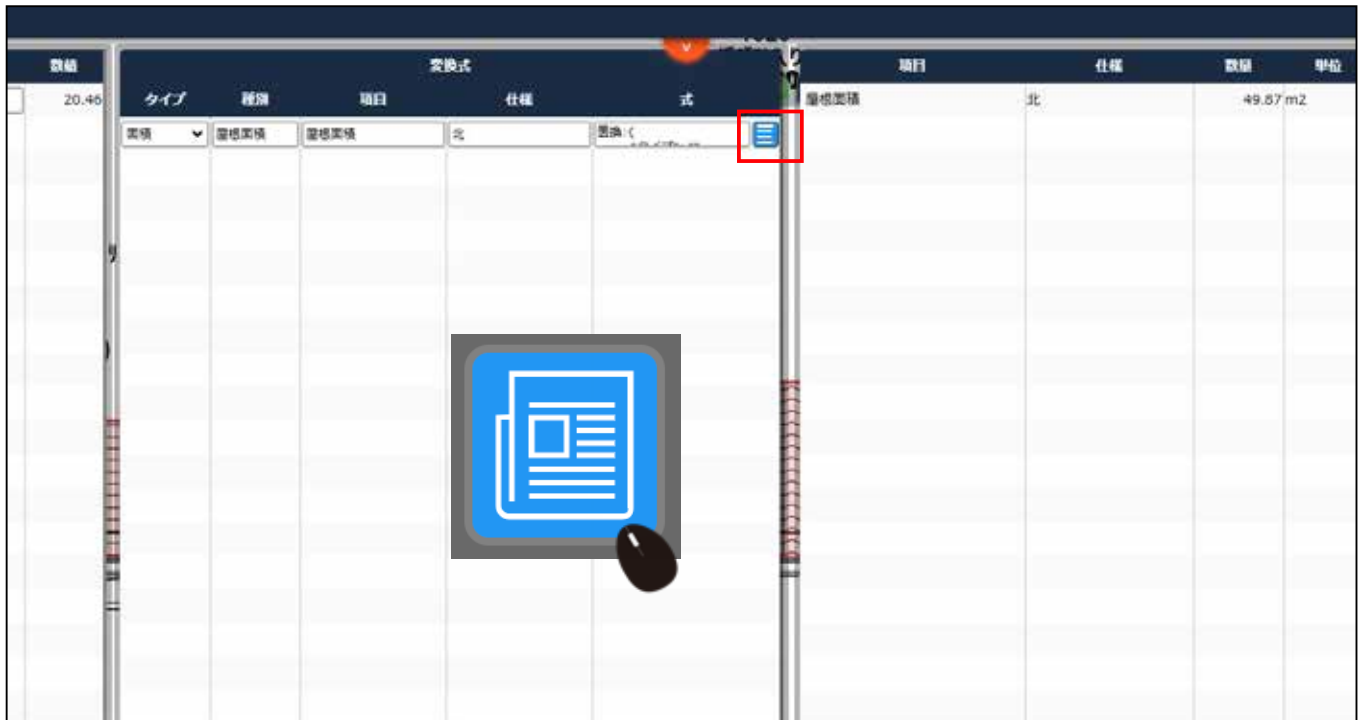
9) 真ん中の計算式部分に新しく 1 行追加されます。



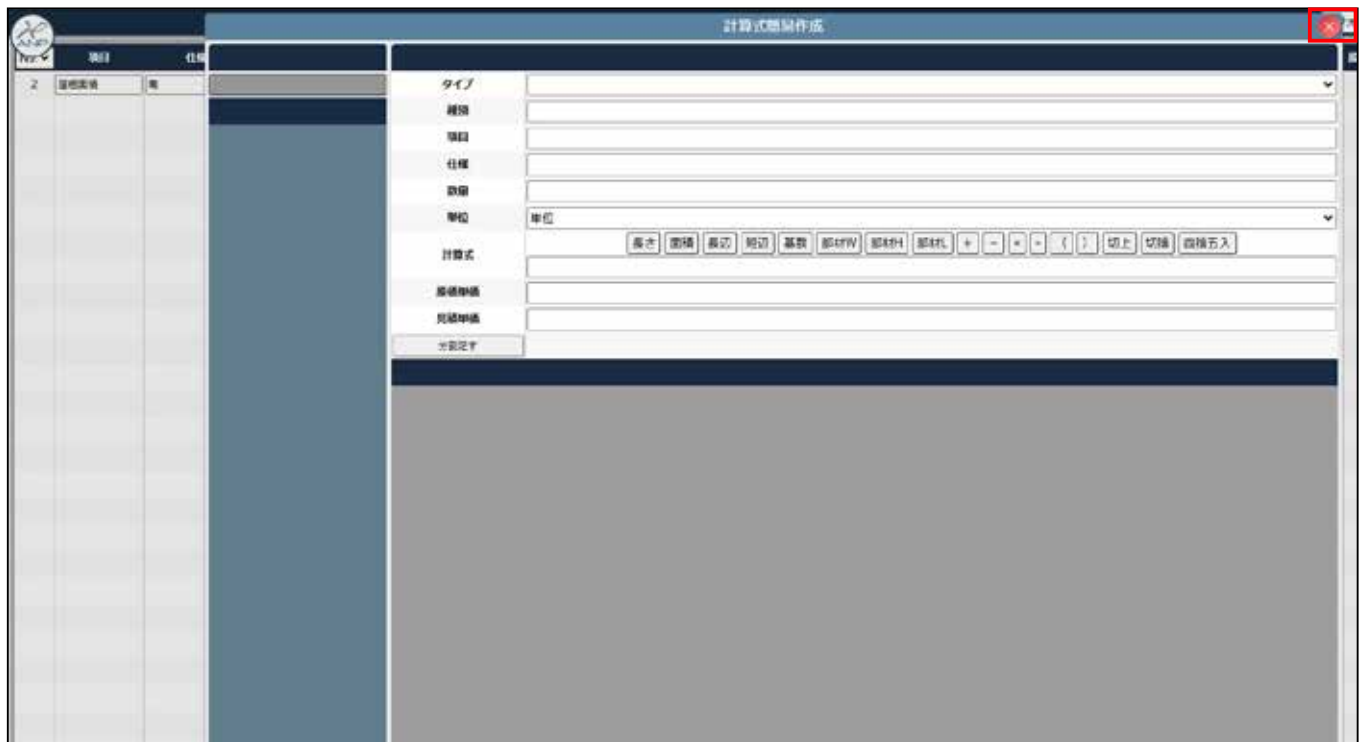
10) 左側と真ん中の計算式の項目などを、同じ名称を入力します。



1 1) 真ん中の計算式部分の青いアイコンをクリックします。



1 2) 計算式作成画面が開きます。 閉じる時は、右上の赤丸 X をクリックします。



- 1 3) 項目に表示したい名称を記入します。何も入力しなければ、当初の「屋根面積」と表示されます。単位や計算式を選択、入力します。

(単位は、設定/単位マスターに登録されていなければ選択できません。)

計算式簡易作成

屋根面積

タイプ

種別

項目

仕様

数量

単位

計算式

原価率値

見積率値

分割足す

長さ 面積 長辺 短辺 基数 部材W 部材H 部材L + - × ÷ () 切上 切捨 四捨五入

面積/(4.5/10.9658)

ここでは、4,5 寸の屋根勾配部分を計測したので、計算式は 4,5 寸用の数値を入力します。

- 1 4) 入力が終わったら閉じます。

計算式簡易作成

面積

タイプ

種別

項目

仕様

数量

単位

計算式

原価率値

見積率値

分割足す

長さ 面積 長辺 短辺 基数 部材W 部材H 部材L + - × ÷ () 切上 切捨 四捨五入

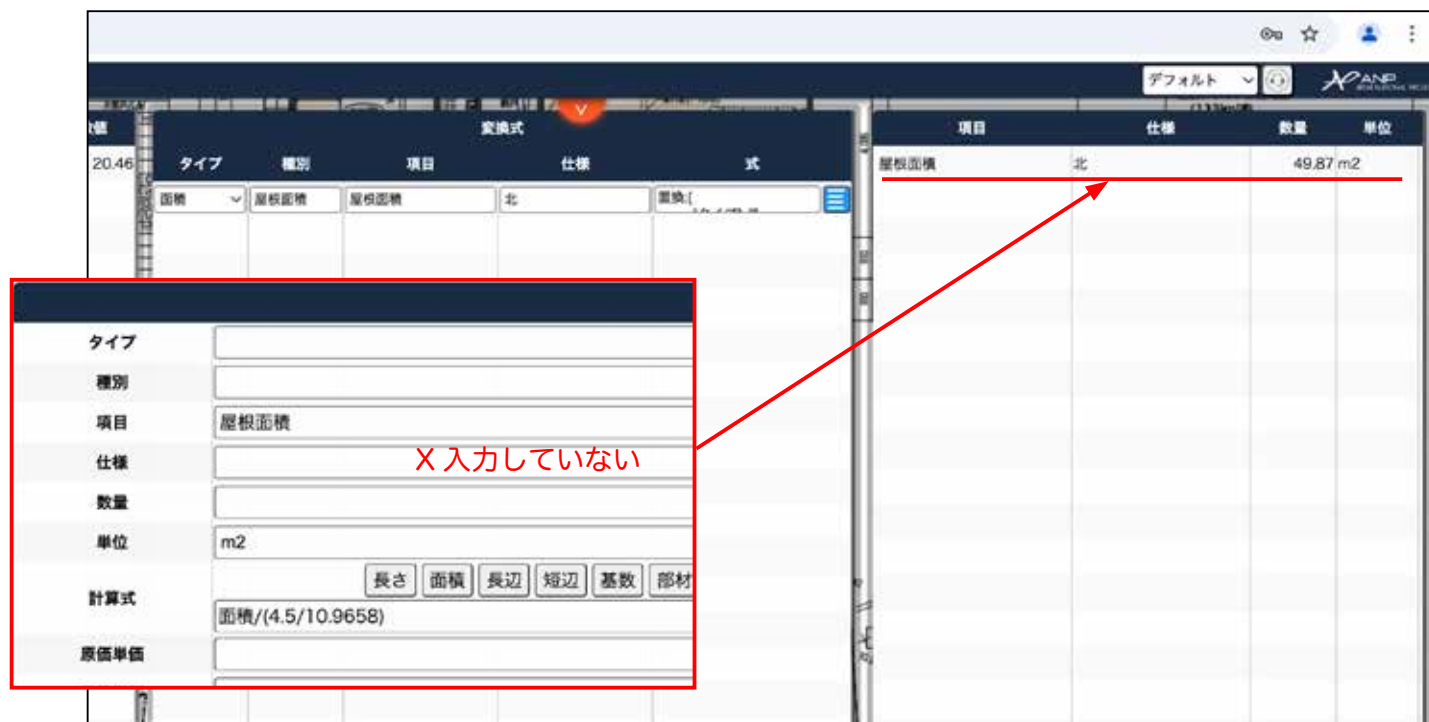
面積/(4.5/10.9658)

屋根面積

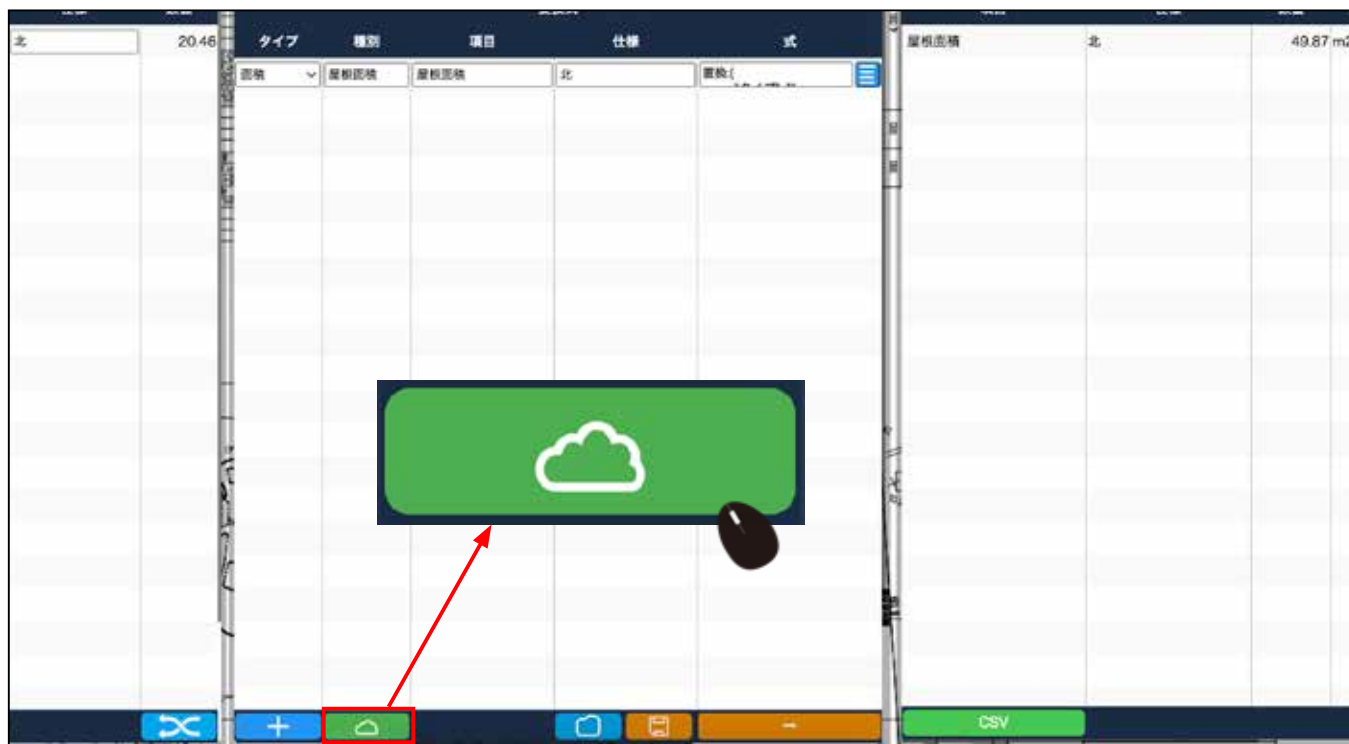
m2

面積/(4.5/10.9658)

- 15) 右側の計算式を通した後の数値が計算された結果で出力されています。
 (仕様の部分に 北 と出ているのは、計算式で、仕様を何も入力していないため、当初の 北 が自動表示されています。)



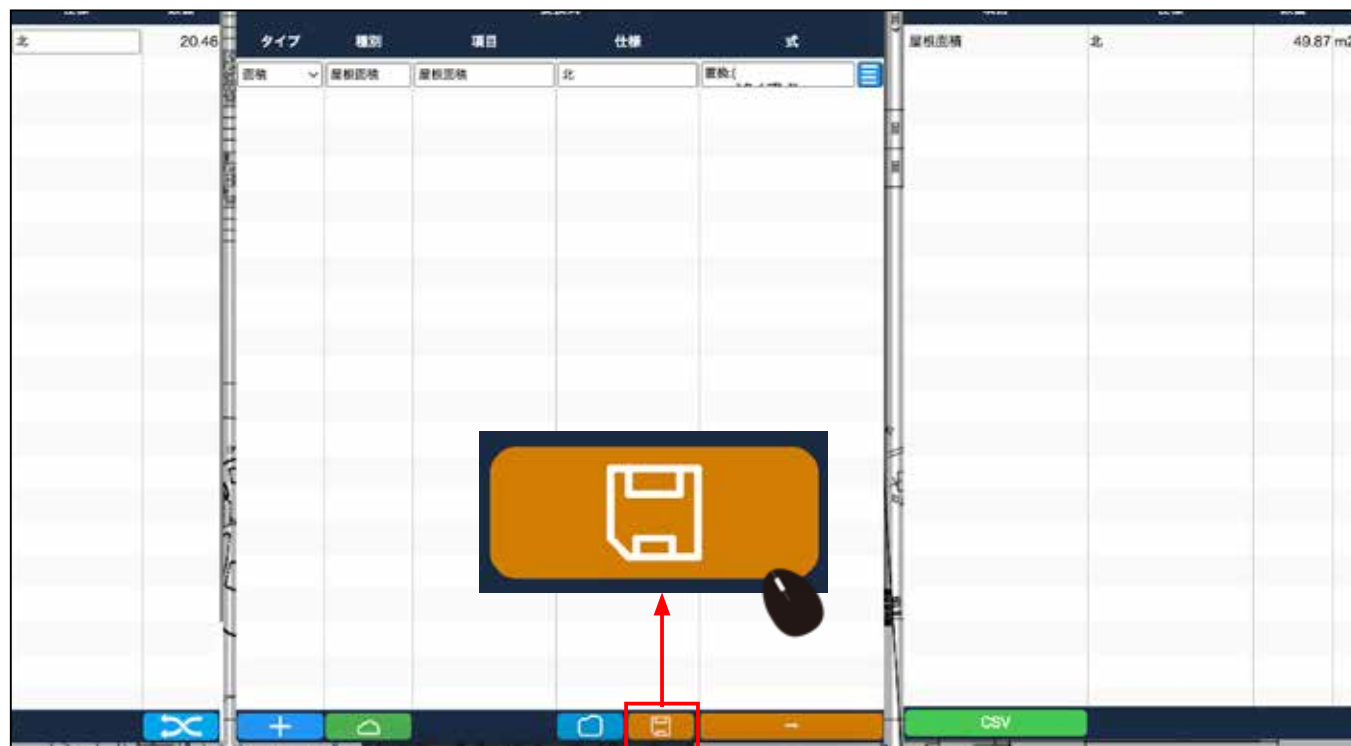
- 16) この計算式を保存します。



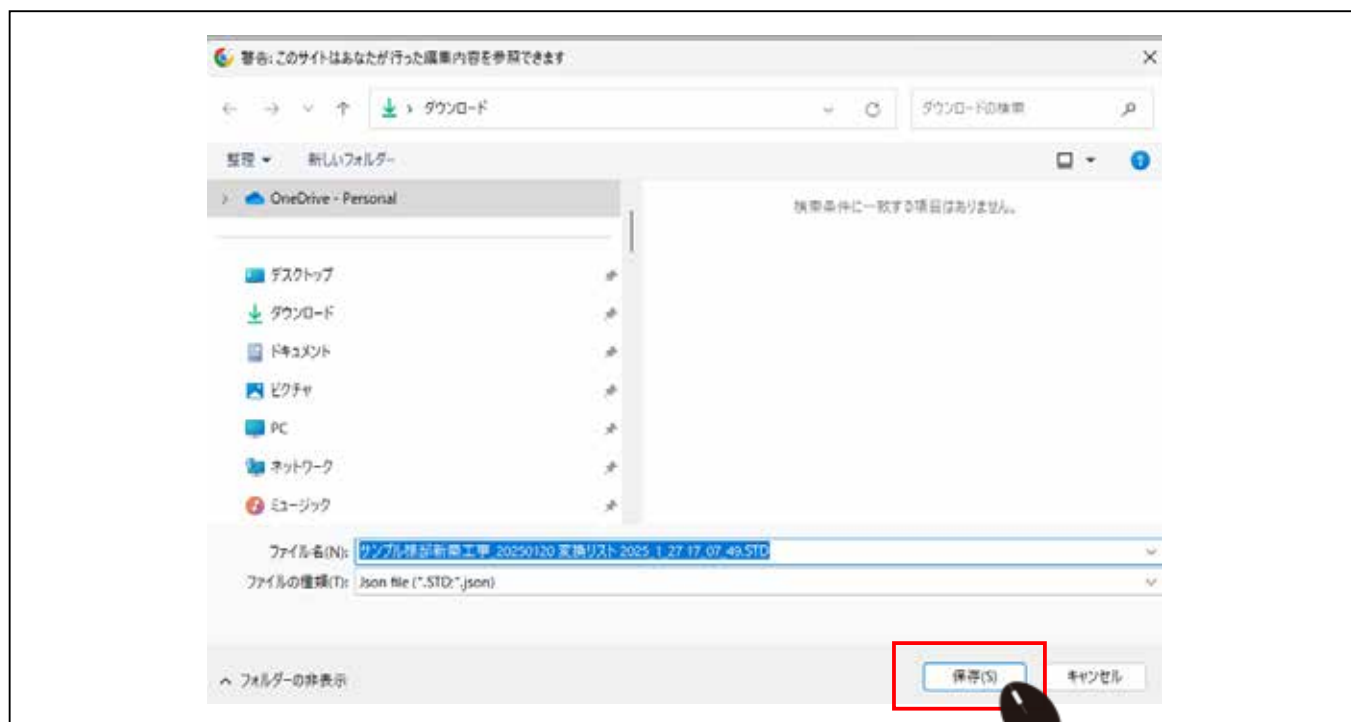
17) サーバーに保存されたことが表示されますので、OK をクリックします。



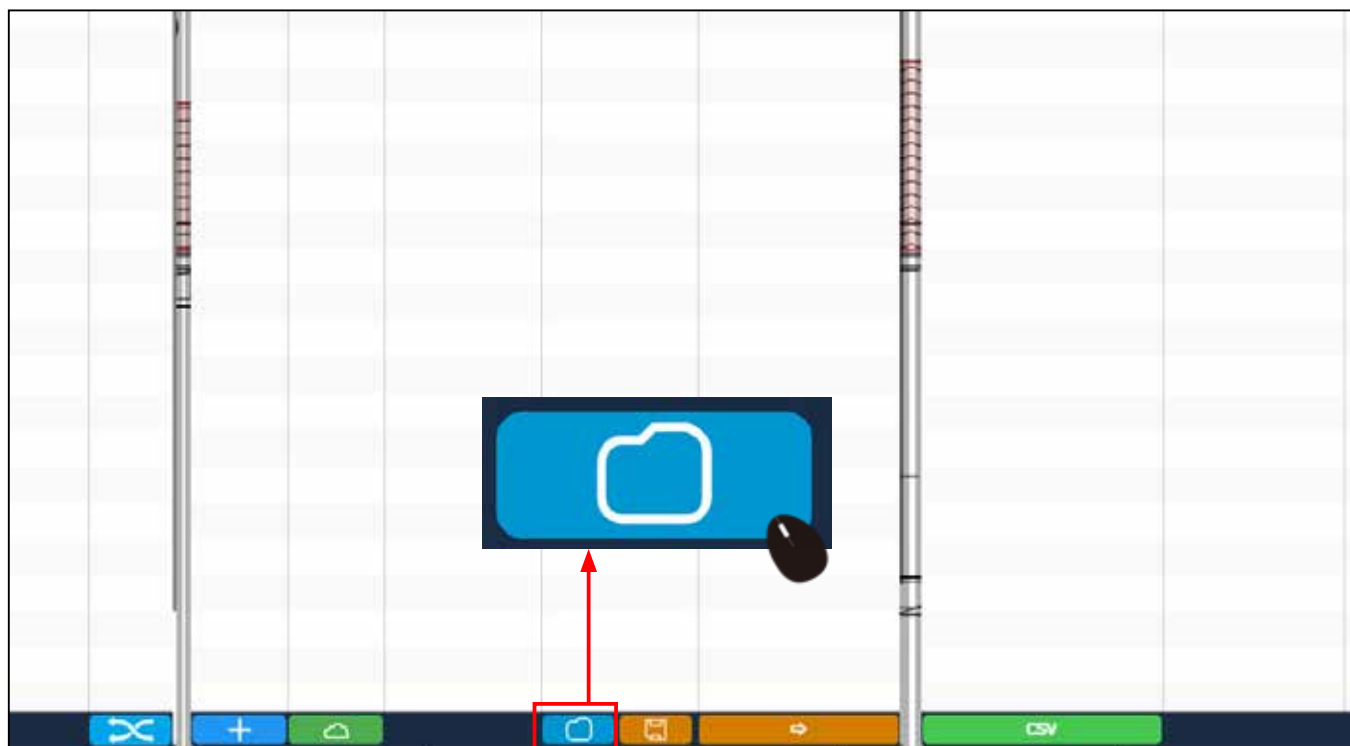
18) 計算式をパソコン側に保存する場合は、 をクリックします。



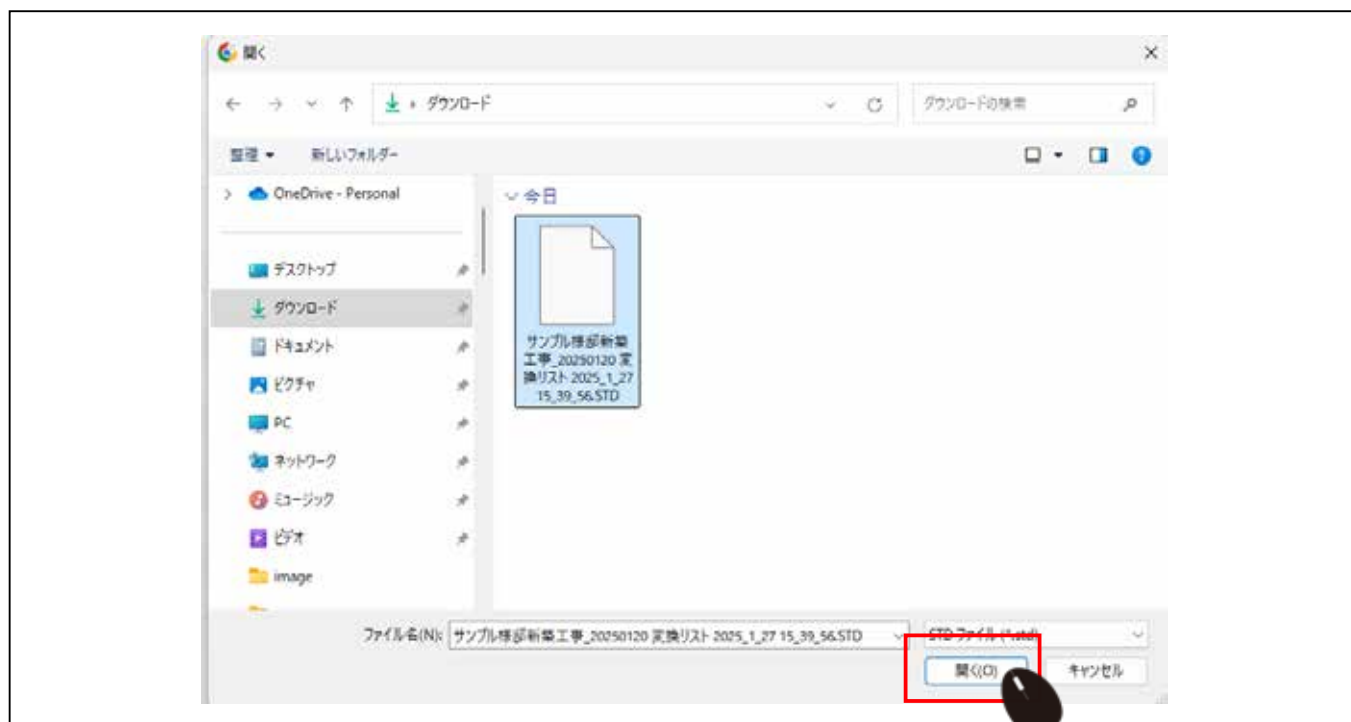
- 19) パソコンのどのフォルダに保存するか、また必要であればファイル名も変更して保存します。(拡張子 STD は変更しないでください)



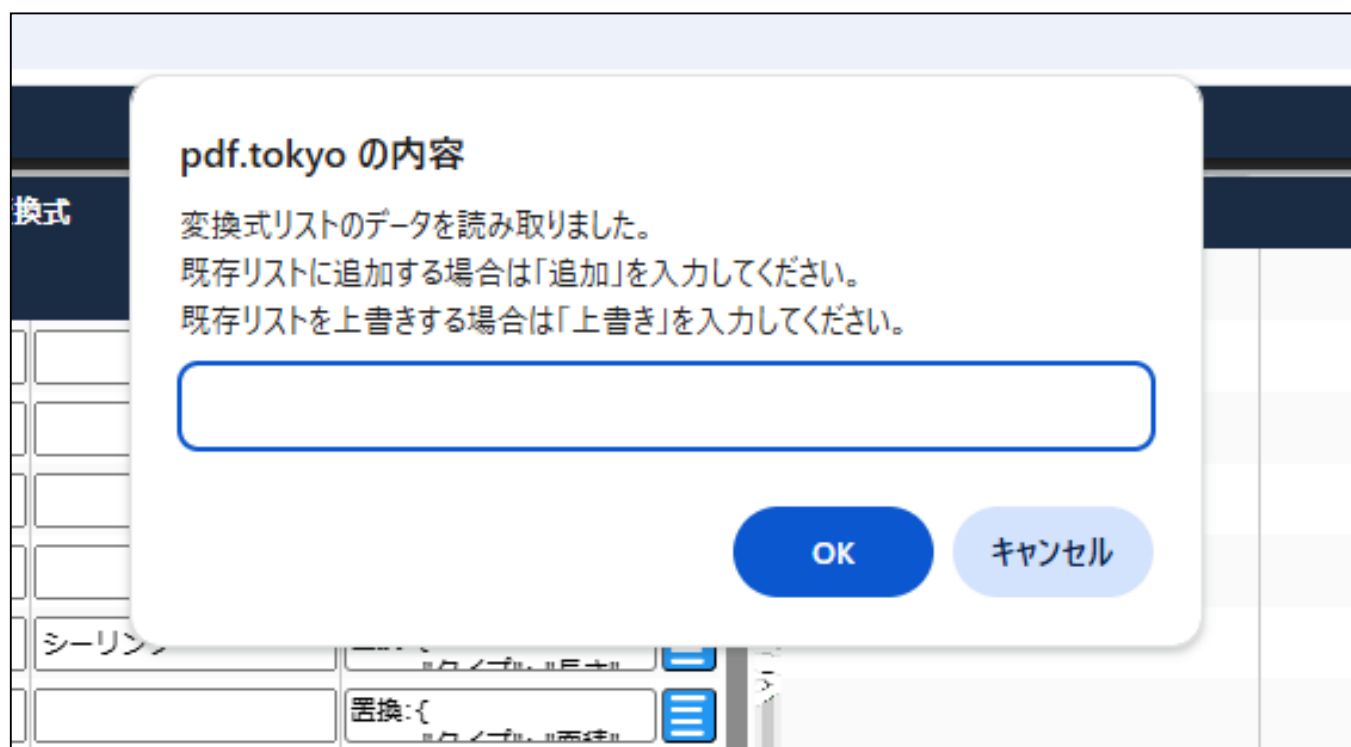
- 20) パソコンに保存している計算式を、別の案件で使用する場合、計算式の画面から計算式をアップロードします。



2 1) アップロードするファイルを指定する画面が開きますので、選択します。



2 2) 計算式を追加するのか、上書きするのかを指定します。追加か上書きを入力して、OK をクリックすると、実行されます。



計算式ファイルは、いつでも誰でも利用可能です。作成した方が使用する方へ渡してください。